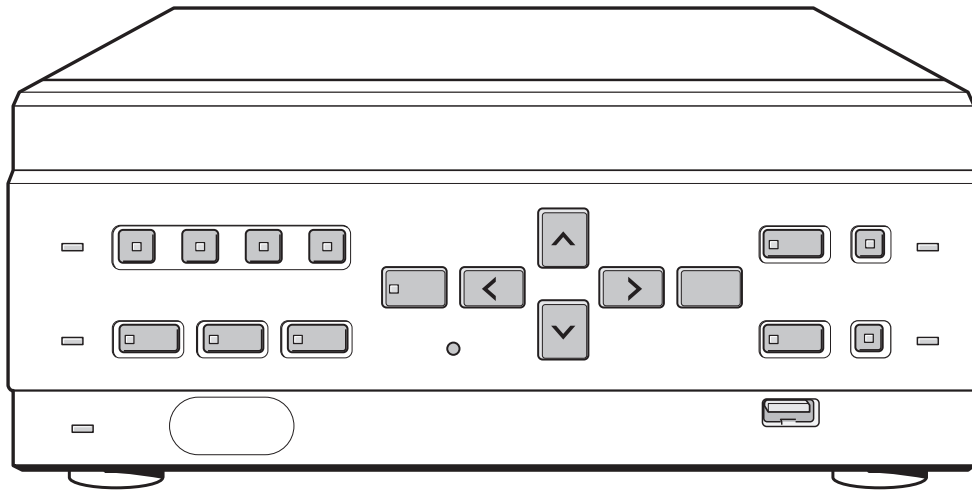
取扱説明書

ハードディスクデジタルレコーダー

品番 VDH-M814

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は、指をはさまれないよう注意することを意味します。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は、分解禁止を意味します。）

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は、電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■キャビネットのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き柔らかい布で汚れを軽くふき取る。
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる。

注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

⚠警告

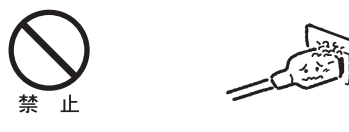
■ **煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない**

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、
お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■ **電源コードを傷つけない**

●付属の電源コード以外は使用しないでください。
●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
（電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店または工事店に交換をご依頼ください。）

■ **電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない**

●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
（定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを除いてください。）

■ **電源コード接続時の注意**

●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
●電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。

■ **キャビネットをはずしたり、改造しない**

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ **接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない**

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ **ぬらさない**

ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場では使用しないでください。

■ **雷が鳴り出したら使わない**

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ **不安定な場所に置かない**

●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
（万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。）

■ **電源電圧100V以外の電圧で使用しない**

火災、感電の原因となります。

■ **国外では使用しない**

使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

⚠注意

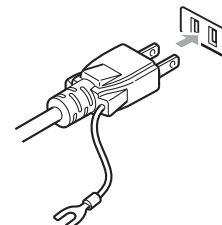
■ **電源プラグを抜くときは､電源コードを引っぱらない**

必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ **ぬれた手で電源プラグをさわらない**

感電の原因となることがあります。

■ **電源コードのアース端子**

電源コードのアース端子は、アナログ機器などを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

■ **設置場所の注意**

●湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所には置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
●磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くには置かないでください。事故、故障の原因となることがあります。

■ **通風孔をふさがない**

専用ラック以外の風通しの悪い狭い所に入れたり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりして通風孔をふさがないでください。

また、壁や家具などに密接して置かないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

■ **上に乗らない**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ **コード類は正しく配線する**

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。
足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ **接続する機器の上に重いものを置かない**

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ **持ち運びの注意**

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、行ってください。
電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となることがあります。

■ **お手入れの際､長期間使用しない場合の注意**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ **内部の掃除について**

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

HDD内蔵機器に対する取扱注意事項

本機はハードディスクドライブ（HDD）が内蔵されています。本機の操作や設置、サービスをおこなうときは以下の事項に留意し、慎重に取り扱ってください。

次のような場所では使用しない

ハードディスクはほこり、振動、衝撃に弱く、さらに磁気を帯びた物に近い場所での使用を避けてください。記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に注意してください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 録画や再生中は、コンセントを抜いたりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- 温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると、結露を生じることがあります。本機に結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。急激な温度変化があった場合は、十分に温度が安定するまで待ってから動作させてください。
- 常に振動を伴う車・列車などには設置しないでください。
- 本機には通気孔がありますので、設置するときは通気孔を塞がないでください。
- 本棚や箱の中など通気性が悪くなる環境での使用は避けてください。
- 本機は横置き型です。縦置きで使用すると故障の原因となります。
- ラックに設置する場合は、上下5cm以上のスキマを開けてください。
- 本機を床などに置くときは、底に指定の足がついている状態で静かに降ろしてください。

■ 電源OFF後の30秒間は動かさない

電源OFF後もしばらくはHDDのディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は通電中以上に衝撃、振動に弱い状態です。電源OFF後30秒は軽い衝撃も与えないように注意してください。

■ 搬送時の注意

本機を搬送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。また、搬送は振動の少ない方法でおこなってください。

■ HDD交換時の注意

HDDの交換は交換手順に従っておこなってください。

- 梱包していないHDDは衝撃、振動が加わると故障する恐れがあります。梱包していないHDDはプリント基板面を上にし、水平にしてやわらかいものの上に置くことを推奨します。
- HDDの交換作業でねじの締め付けや取り外す際は、衝撃、振動を与えないように作業をしてください。
  ねじの締め付けはゆるまないようにしっかりとおこなってください。HDDは静電気に弱いので必ず静電対策をおこなって作業をしてください。

■ HDD単体の取扱注意

HDD単体を輸送、保管する場合は必ず指定の梱包材料でおこなってください。
また、輸送時はHDDにかかる振動の少ない方法でおこなってください。
万一、HDDが故障した場合も不良内容の確認や解析をおこなうまでの破損の拡大を防ぐため、本機および交換のため取り外した故障のHDD取り扱いにも十分注意してください。

ハードディスクと放熱ファンは消耗品です

周囲温度25℃の使用条件で、ハードディスクは2年、放熱ファンは3年を目安に交換してください。この年数はあくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。
また、ハードディスクまたはファンに異常が起きたときは、電源ランプの点滅でお知らせします。（→P.12）

大切な記録の場合

- 必ず事前に録画をおこない、正常に再生されることを確認してください。
- 本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により記録されなかったり、正常に再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- 万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとるか、ミラーリングをお勧めします。

ハードディスクの保護

電源を入れると、自動的にディスクチェックをおこないます。ハードディスクに異常が発見されると、電源ランプが点滅しますので、ハードディスクを初期化するか画像の保管が必要な場合は、サービスセンターにご相談ください。

お手入れについて

- 電源プラグをコンセントから抜き柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

バックアップバッテリーについて

本機にはリチウムバッテリーが内蔵されています。日付と時刻をセットした後、48時間以上の間、電源コンセントが接続されていた場合、電源コンセントを抜いても30日以内の間、時計機能が維持されます。
本機を処分する場合に、リチウムバッテリーの処分については、サービスセンターにご相談ください。

本機のメニューボタン操作について

コンピューター（VA-SW81LITE/VA-SW814）と接続中は本機のメニューボタンは機能しません。また、本機のメニューボタンを使用できる状態では、コンピューターの操作はできません。

本文中のマークの見かた

操作方法や機能を使いこなすための情報です。

ご注意　デジタルビデオレコーダーを正しくお使いいただくために必要な情報です。

（→P.□□）は、参照ページを示します。

著作権について

- 本書およびソフトウェアは三洋電機株式会社の著作物です。
- 本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

著作権を有する映像などを記録する際は、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

目次

使用上のお願い

はじめに

1. 主な特長 8
2. 付属品 8
3. 各部の名称とはたらき 9
   - 前面パネル 9
   - 後面パネル 10
4. 設置と接続について 11
   - 設置するときは 11
   - 基本接続 11
   - ネットワークへの接続について 11
   - 電源を入れる 12
   - 電源コードの固定 12
   - システムコントローラーの接続 12
   - リモートコントローラーの接続 12
   - アラームセンサーの接続 12
   - シリーズ記録のための接続 12

使いかた

1. 画面を調整する 13
   - 画面の表示について 13
   - 操作表示部の位置を変える 14
   - 4つの映像を1つずつ自動的に切り替えて表示する 14
   - 見たい映像だけを1画面で表示する 14
2. 録画する 15
   - 録画する 15
   - タイマーを使って録画する（タイマー録画） 15
   - 異常検出時に録画する（アラーム録画） 16
   - アラーム録画を設定する 16
   - 異常を検知した場合 16
   - アラーム録画の終了 16
3. 再生する 17
   - 再生する 17
   - 早送り、早戻し再生するときは 17
   - 静止画で見る 18
   - コマ送り（正逆）する 18
   - 音声を切り換える 18
4. 録画した映像を検索する 19
   - アラームサーチ 19
   - 日時サーチ 20
5. 誤操作の防止（キーロック）のしかた 22
   - キーロックを設定する 22
   - キーロックを解除する 22
6. 録画した映像を外部メディアにコピーする 23
   - メディアにコピーする 23
   - コンパクトフラッシュカード、CD-RWのフォーマット 24

設定

1. 設定メニューの構成と内容 25
メニュー画面の操作方法 25
設定を初期値に戻す 25
設定メニューについて 26
2. 本機の時刻を設定する 27
時刻の設定のしかた 27
他のVDH-M814と時刻を合わせる（2台以上接続のとき） 28
3. 画面設定 29
画面設定でできること 29
表示方法を設定する 30
カメラに名前をつける 30
モーションセンサーを設定する 31
4. 記録設定 33
記録設定でできること 33
記録に関する基本設定 33
アラーム録画の詳細設定 36
録音レベルを設定する 37
タイマー録画の曜日、時間を設定する 37
特定の日を休日に設定する 40
ハードディスクを初期化/増設する 41
5. データ表示設定 42
設定項目 42
操作表示部の表示をカスタマイズする 42
6. ブザー設定 43
設定項目 43
ブザーを鳴らす/鳴らさないを状況ごとに設定する 43
7. セキュリティロック設定 44
パスワードの設定例 44
設定項目 44
管理者パスワードを設定する 44
使用者パスワードを設定する 45
録画・再生操作をするためのパスワードを設定する 46
CD-R/RW、CFへのコピーを防止するための設定 46
セキュリティロックをかける 46
8. RS-485/ネットワーク設定 47
ネットワークの接続例と設定 47
RS-485を使用する場合の接続と設定 49
9. 停電情報/使用時間 50
10.メニュー設定コピー 51
設定のしかた 51

付録

1. コントロール端子仕様 53
システムコントローラーの接続 53
リモートコントローラーの接続 54
アラームセンサーの接続 54
シリーズ記録のための接続 54
2. RS-485仕様 55
RS-485終端スイッチの設定 55
3. インターフェイス仕様 56
DVRまたはVTR用コマンドテーブル 56
4. 本体仕様 57
寸法図 58
ハードディスクを増設するときのご注意 58

1. 主な特長

■ 4台の監視カメラを制御

本機は 4 台の監視カメラ映像を、内蔵のハードディスクに録画することができます。

■ 大容量ハードディスクを搭載可能。

最大300GBのハードディスクを2台まで搭載可能です。標準で120GBのハードディスクを搭載し、連続336時間以上（120GB：標準画質の場合）の長時間録画ができます。

■ ミラーリング可能

同じ容量のハードディスクを 2 台搭載しているときはデータ保護のためのミラーリングが可能です。

■ 充実した録画･再生機能を搭載

- 録画と同時に、再生ができます。
- 音声の録音・再生ができます。
- タイマー録画により、曜日ごとに時刻を変えて録画ができます。（→P.15）
- 4台の監視カメラ映像を1台のモニターで4分割画面表示することができます。
- 自動チャンネル切り換えで 1 画面ずつ順番に表示したり、見たい映像だけを1画面で表示したりすることもできます。
- モーションセンサー機能により、侵入者等で変化のあった映像を自動的に記録できます。

■ 検索機能により欲しい映像が瞬時に表示可能 （→P.19）

- アラームの発生順によるサーチ
- 日付・時間で検索する日時サーチ

■ セキュリティロックにより使用者を制限して、データと機器の管理が可能。（→P.44）

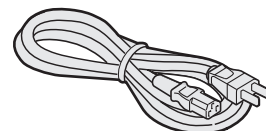
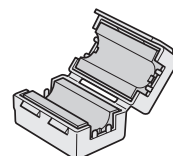
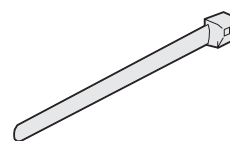
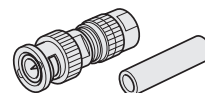
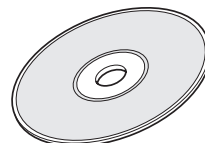
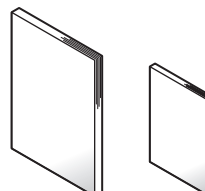
■ 拡張性が高くコンピューターとの連携が可能

- LAN端子からネットワークに接続し、コンピューターで遠隔操作／遠隔監視ができます。*
- ネットワーク接続時、最大4000台までのハードディスクデジタルレコーダーを最大 8 台のコンピューターで監視できます。*
- RS-485 端子によるシステムコントローラー（別売）との接続ができます。
- USB 端子に CD-R/RW ドライブやコンパクトフラッシュカードリーダーを接続することができます。録画した画像を外部メディアにコピーしたり、メニューデータを外部メディアにダウンロードして複数台の本機にアップロードすることができます。

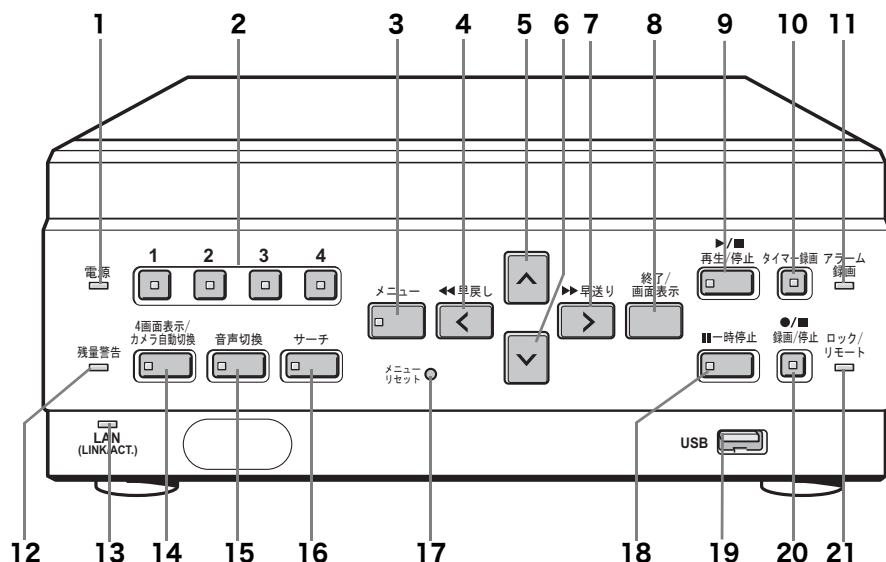
* 印は、付属のアプリケーションソフトウェア VA-SW81LITE Ver.2、または別売の VA-SW814 Ver.2 が必要になります。（VA-SW81LITE Ver.2では一部の機能に制限があります。）

2. 付属品

下記の部品が入っているか確かめてください。

電源ケーブル

フェライトコア
（LAN 接続ケーブル用）

フィクサー

BNC プラグとチューブ
各 2 個

アプリケーション
ソフトウェア
（VA-SW81LITE Ver.2）

取扱説明書
●VDH-M814
●VA-SW814/
VA-SW81LITE Ver.2

GNU GPL 適用ソフトウェア
使用許諾条件書

3. 各部の名称とはたらき

前面パネル

1. 電源ランプ（→P.12）

電源が入っているときはランプが点灯します。
ハードディスクまたはファンに異常がある場合は点滅します。

2. チャンネルボタンとランプ

４分割画面の映像を１画面に切り換えるときに使用します。番号のボタンを押すとランプが点灯し、１画面で表示されます。

3. [メニュー]ボタンとランプ

メニュー画面を表示させるときに押します。メニュー画面表示中は、ランプが点灯します。

4. [早戻し]ボタン

再生中に押すと、映像を見ながら早戻しができます。また、メニュー画面を操作するときに使用します。

5. [∧]ボタン

メニュー画面のカーソルを上に移動するときに使用します。また、設定値を変更するときも使用します。

6. [∨]ボタン

メニュー画面のカーソルを下に移動するときに使用します。また、設定値を変更するときも使用します。

7. [早送り]ボタン

再生中に押すと、映像を見ながら早送りができます。また、メニュー画面を操作するときに使用します。

8. [終了/画面表示]ボタン（→P.25）

メインメニュー、サブメニュー、サーチ画面または設定画面の表示から、通常の画面に戻るときに押します。

9. [再生/停止]ボタンとランプ

ランプが点灯し、通常の映像が再生されます。再生中に押すと、再生を中止します。

10.[タイマー録画]ボタンとランプ（→P.15）

録画停止中に押すとタイマー録画待機中になり、ランプが点灯します。設定した時間になるとタイマー録画になります。

11.アラーム録画ランプ

アラーム映像の録画中は、ランプが点滅します。

12.残量警告ランプ（→P.34）

ハードディスクの記録領域がゼロになり、録画が停止するとランプが点灯します。

13.LANランプ

ネットワークに接続すると点灯し、データが送受信されているときに点滅します。

14.[4画面表示/カメラ自動切換]ボタンとランプ（→P.14）

4分割画面に切り換えます。また、４分割画面の表示を1画面で順次切り換えて表示するときに使用します。

15.[音声切換]ボタンとランプ

音声出力チャンネルの切り換えに使用します。

16.[サーチ]ボタンとランプ（→P.19、P.20）

録画および停止中に押すとランプが点灯し、サーチ設定画面を表示します。

17.[メニューリセット]ボタン（→P.25）

表示中のメニューを初期状態にしたり、時刻を調整するときに使用します。

18.[一時停止]ボタン

再生中に押すとランプが点灯し、静止画になります。もう一度押すと解除します。

19.USB端子（→P.23、P.51）

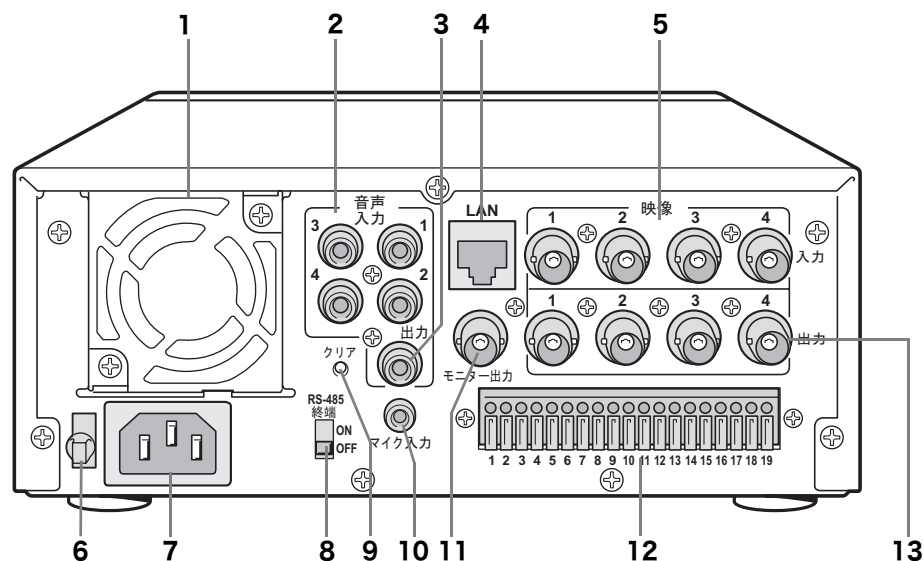
コンパクトフラッシュカードリーダー、または CD-R/RWドライブを接続します。
メニュー設定のコピー（コンパクトフラッシュカードのみ）、録画した映像のコピーができます。

20.[録画/停止]ボタンとランプ

通常録画を開始します。録画中はランプが点灯します。録画中にボタンを３秒以上押すと、録画が停止しランプが消灯します。

21.ロック/リモートランプ（→P.22、P.46）

キーロックまたはセキュリティロックの設定で、操作がロックされていると点灯します。
セキュリティロック中に操作ボタンを押すとブザーが鳴ります。再生中はキーロックできません。
ネットワーク接続されているときは1秒間に4回、ロック中の接続は1秒間に1回点滅します。

後面パネル

1. ファン

2. 音声入力端子(4CH分)

3. 音声出力端子

4. LAN端子(→P.47)

5. 映像入力端子(4CH分)

6. 電源コードホルダー

付属のフィクサーを使って電源コードを固定します。(→P.12)

7. AC INLET

AC電源入力端子（3芯）

8. RS-485 終端スイッチ

RS-485終端ON/OFFを設定するスイッチです。

9. クリアスイッチ

時計とカメラタイトルを初期状態に戻し、本機を再起動させます。
（メニューの設定内容は保持されます）

10.マイク入力端子

11.モニター出力端子

1台のモニタに4分割画面を表示させる出力端子です。

12.コントロールとアラーム端子

アラームセンサー、システムコントローラー、リモートコントローラーなど外部機器を接続したり、他のデジタルビデオレコーダーを接続します。（→P.53）

13.映像出力端子(4CH分)

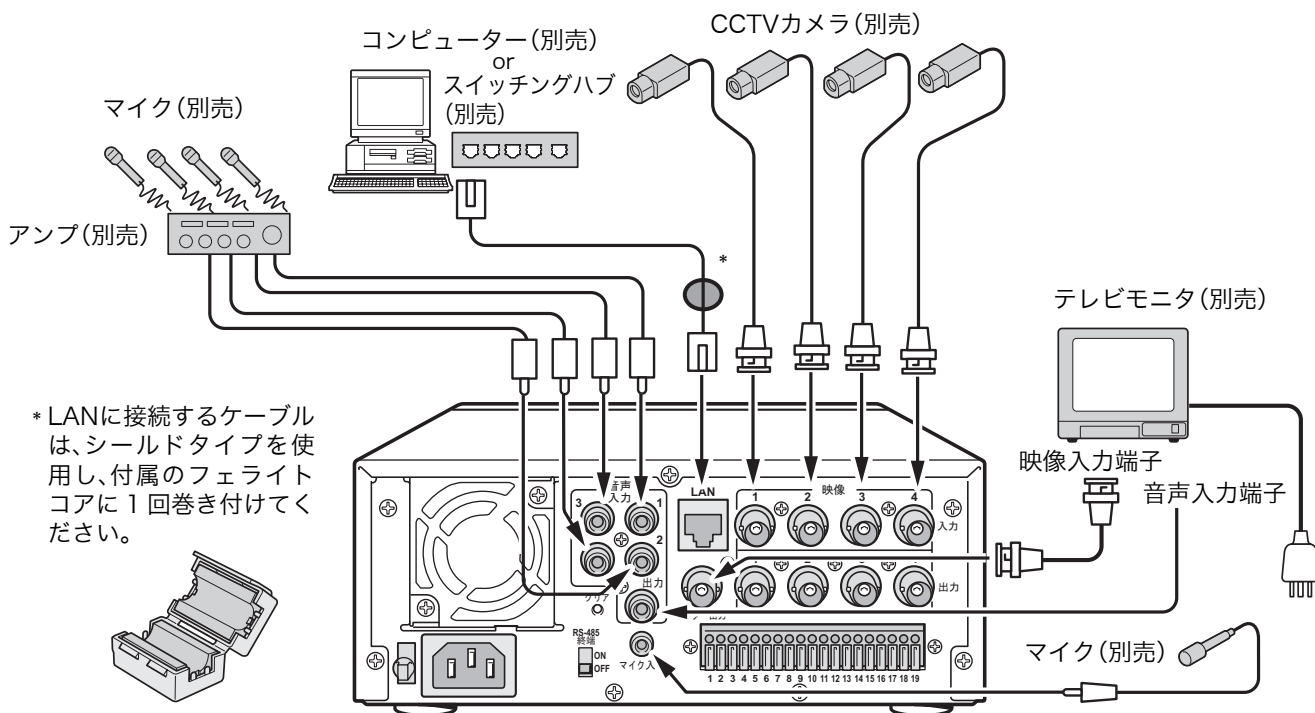
チャンネルごとの映像を、直接モニタへ出力する場合の端子です。

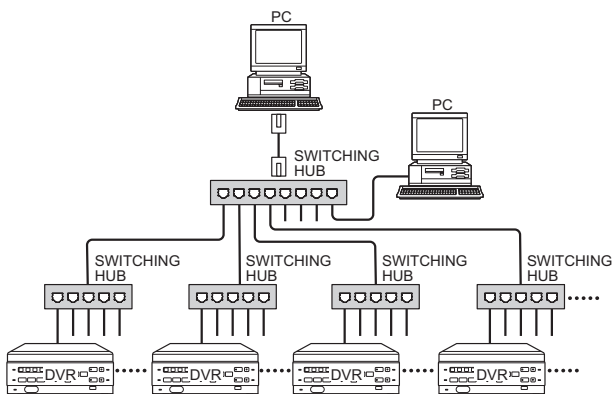
4. 設置と接続について

設置するときは

本機には通気孔がありますので、設置するときは通気孔を塞がないでください。また、本棚や箱の中など通気性が悪くなる環境での使用は避けてください。ラックに設置する場合は、上下5cm以上のスキマを開けてください。

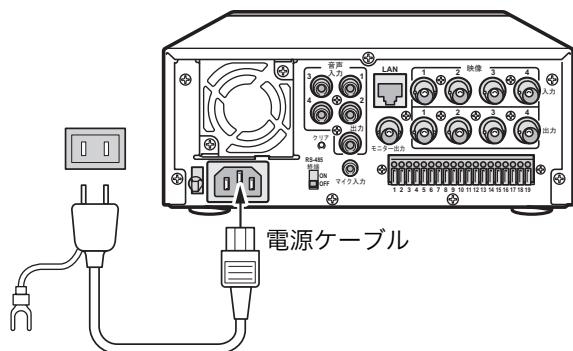
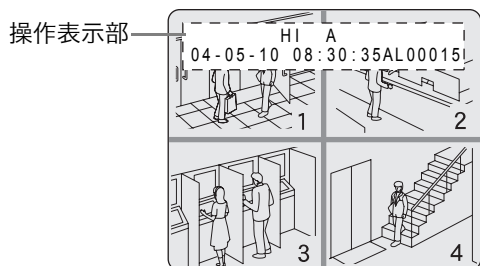
基本接続

CCTVカメラおよび各機器との接続のしかたについて説明します。各機器の取扱説明書も併せてお読みください。接続を誤ると、発煙したり故障の原因になることがありますので注意してください。
以下は、カメラ（4台）、モニタテレビ（1台）、マイク、コンピューターを使用したときの接続です。

ネットワークへの接続について

後面パネルのLAN端子を100BASE-TXのネットワークに接続できます。

ネットワークには最大4000台のハードディスクデジタルレコーダー（HDR）を接続でき、付属の遠隔操作ソフトウェアVA-SW81LITE Ver.2、または別売のVA-SW814 Ver.2を使えば、PCから接続したすべてのハードディスクデジタルレコーダーの制御と、ライブ映像、録画映像と音声の監視ができます。PCを複数台接続することも可能です。（VA-SW81LITE Ver.2では一部の機能に制限があります。）

電源を入れる

すべての接続が終わったら、電源プラグをコンセントに差し込む

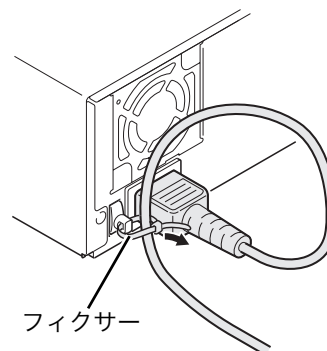
電源スイッチはありません。表示ランプが点滅した後、しばらくしてモニタ画面には、カメラ映像が映し出されます。

- **初めて電源を入れる場合**
  モニタ画面には"PLEASE SET THE CLOCK"が点滅します。P.27にしたがって時計を設定してください。
- **すでに時計が設定されている場合**
  操作表示部が表示されます。

ご注意

- 電源投入時や使用中に本機に異常が発生した場合、電源ランプが次のように点滅し、異常の内容を知らせます。この場合はサービスセンターにご相談ください。

電源ランプの状態	意味
1秒間に4回点滅	ハードディスクに異常があります。ハードディスクの交換または初期化が必要です。記録済みの画像が必要な場合は、サービスセンターにご相談ください。
1秒間に1回点滅	ファンに異常があります。

- 電源ケーブルを抜いてから30秒間は、本機を移動したり振動させたりしないでください。電源ケーブルを抜いた後も、しばらくはハードディスク内のディスクが慣性で回転しています。この間はヘッドが不安定な状態になっており、通電時以上に衝撃、振動に弱い状態です。いかなる衝撃も与えないように注意してください。

電源コードの固定

付属のフィクサーで図のように電源コードホルダーに電源コードを固定します。

システムコントローラーの接続

別売のシステムコントローラーを使えば、複数のデジタルビデオレコーダーの設定を集中的に行うことができます。(→P.53)

リモートコントローラーの接続

前面パネルの各ボタンの機能をリモートコントローラーで制御できます。リモートコントローラーはお客様が製作してください。(→P.54)

アラームセンサーの接続

後面のアラーム入力端子（1〜4）に、通常時オープン、異常検出時Low出力タイプの市販のアラームセンサーを接続できます。(→P.54)

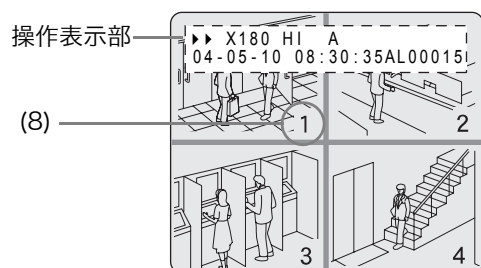
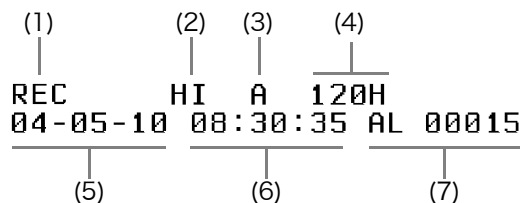
シリーズ記録のための接続

本機を複数台接続したときに、1 台目のハードディスクデジタルレコーダーの容量がいっぱいになると、自動的に 2 台目以降のハードディスクデジタルレコーダーが録画を引き継ぎます。(→P.54)

1. 画面を調整する

電源を入れると、モニタ画面の上部に操作表示部が表示されます。操作表示部には、操作に必要な日付・時刻、画質、残量表示などを表示します。

画面の表示について

例：通常画面

(1) 操作シンボル
録画、再生、再生速度などを表示します。
操作シンボルの種類については、右側の「表示内容一覧」を参照してください。

メモ ▶

録画と再生を同時におこなっている場合は、再生(▶)の表示になります。

(2) 画質表示（→P.34）
ハードディスクに記録される映像の画質を表示します。初期設定はHIGHに設定されています。

(3) 音声記録
音声記録を設定している場合に、“A”を表示します。

(4) 残量表示
上書き設定を禁止しているときは、録画できる残り時間を以下のように表示します。

残り時間	表示単位	表示例
1時間以上	1時間単位	1H
1時間未満	10分単位	10M
10分未満	1分単位	1M

(5) 日付表示（→P.27）
年月日で表示します。
04－05－10（年－月－日）

(6) 時刻表示（→P.27）
初めて本機に電源を入れたときは“PLEASE SET THE CLOCK”と表示します。本機は日付と時刻により録画や再生箇所を管理します。

(7) アラーム表示とアラーム回数表示（→P.16）
“アラーム記録設定”でアラームの設定をすると、アラーム表示部は次のように表示します。（→P.36）

- アラーム表示
  アラーム記録設定の場合は、“AL”を表示します。
  アラーム記録中は、“AL”表示が点滅します。
- アラーム回数表示
  アラームが発生した回数を累計で表示します。

(8) カメラ名称表示とVIDEO LOSS表示
カメラごとに設定した名称が表示されます。
映像入力が無くなると“VIDEO LOSS”と表示されます。

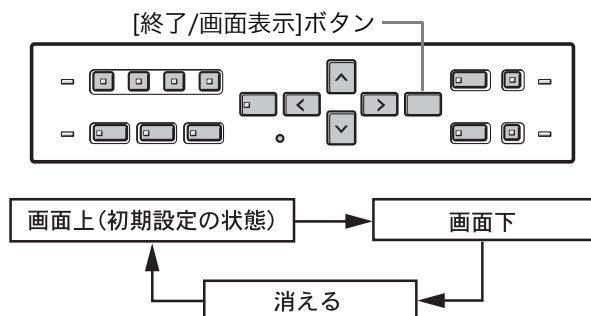
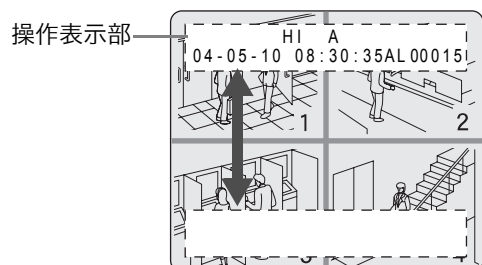
表示内容一覧

録画または再生しているときに表示される操作表示部の一覧です。

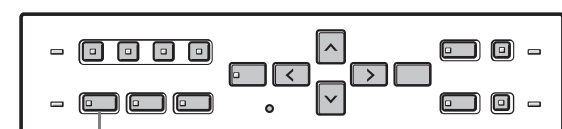
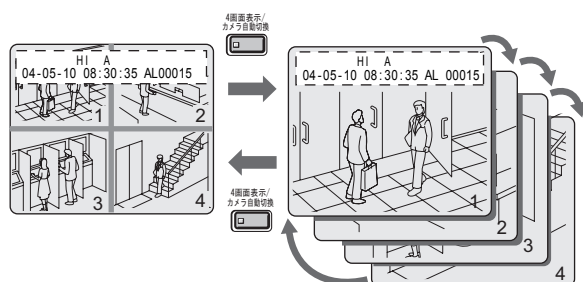
(1)操作シンボル表示	内 容
REC	録画中
▶	再生中
❚❚	静止中
◀◀	早戻し再生中
▶▶	早送り再生中
❚❚▶	スロー再生中
◀❚❚	逆スロー再生中
再生速度の表示	
X2	2 倍速
X7.5	7.5 倍速
X15	15 倍速
X30	30 倍速
X180	180 倍速
1/8	1/8 倍速
1/4	1/4 倍速
1/2	1/2 倍速
(2)画質表示	
SU+	SUPER+
SUP	SUPER
HI	HIGH
STD	STANDARD
(3)音声記録表示	
A	音声記録ON
(無)	音声記録OFF
(4)残量表示	
000H	残量が 1 時間以上のときは 1 時間単位で表示。
(7)アラーム回数を表示	
A L 00000	アラーム発生回数を表示

操作表示部の位置を変える

[終了/画面表示]ボタンを繰り返し押す

[終了/画面表示]ボタンを繰り返し押すと、操作表示部の位置を変更したり、表示を消すことができます。

例:通常画面

4つの映像を1つずつ自動的に切り替えて表示する

通常は、4分割画面が表示されています。以下の方法で1画面で表示することができます。

1画面で、順次、自動で切り換えて表示させるには

1 [4画面表示/カメラ自動切換]ボタンを押す

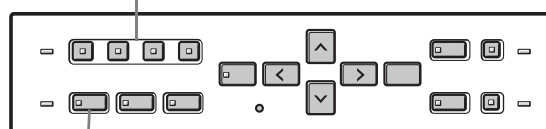
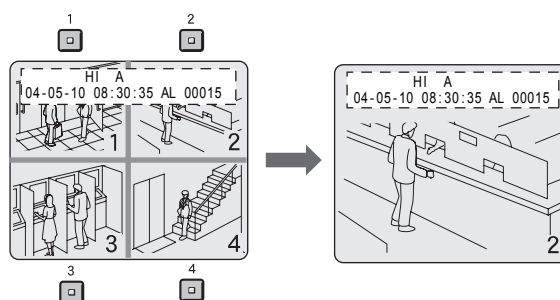
1画面が順次表示されます。初期設定では1秒ごとに自動でチャンネルが切り換わります。

4分割画面に戻すには

2 [4画面表示/カメラ自動切換]ボタンを押す

4分割画面が表示されます。

見たい映像だけを1画面で表示する

映像を1画面で表示することができます。

1 [チャンネル]ボタンを押す

押した [チャンネル] ボタンのランプが点灯します。また、そのチャンネルが画面に表示されます。

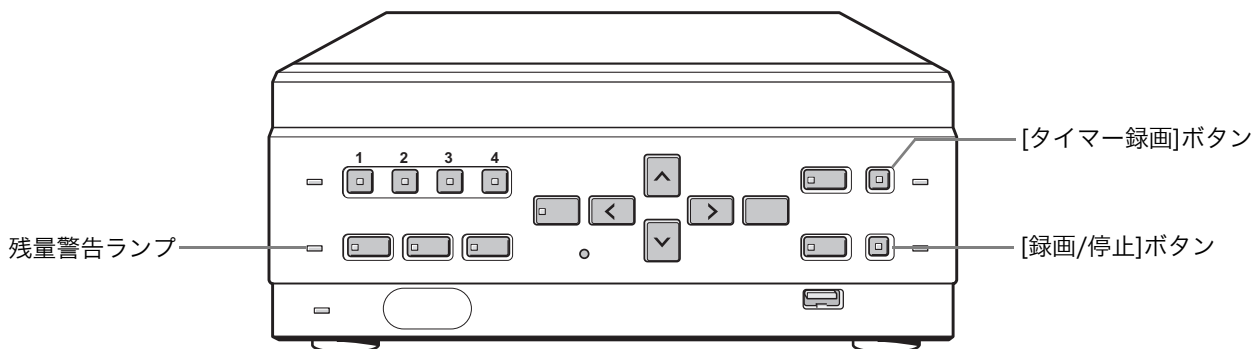
4分割画面に戻すには

2 [4画面表示/カメラ自動切換]ボタンを押す

4分割画面が表示されます。

4画面表示中に[4画面表示/カメラ自動切換]ボタンを押すと、1画面が順次表示されます。

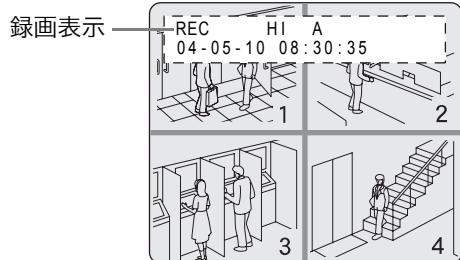
使いかた

2. 録画する

録画する

監視中の映像をハードディスクに録画します。

1 [録画/停止]ボタンを押す

録画/停止ランプが点灯します。画面に“REC”が表示され録画を開始します。

録画表示

メモ

- 初めて録画する場合は、初期設定値で録画されます。画質を変更する場合は、P.33を参照してください。
- 記録残量がゼロになると録画が終了して残量警告ランプが点灯します。上書記録設定の変更により最初から記録することができます。(→P.34)
- 録画中も再生できます。詳細については 17 ページを参照してください。
- 記録中は、メニューの変更はできません。

録画を終了する

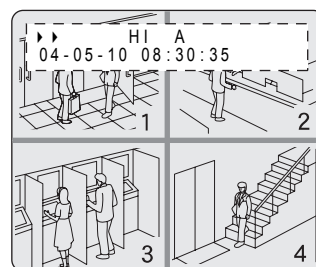
2 [録画/停止]ボタンを約3秒間押す

録画/停止ランプが消灯し、録画を終了します。

タイマーを使って録画する(タイマー録画)

監視中の映像を、設定した時間でハードディスクに録画します。

1 [タイマー録画]ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯し、タイマー録画待機状態になります。

ご注意

- タイマー録画がセットされていないときは、「ピー」と警告音が鳴ります。

(1) タイマー録画の設定は、(→P.37) を参照してください。

(2) タイマー設定で指定した時間になると、録画/停止ランプが点灯し、画面に“REC”が表示され、録画を開始します。

(3) タイマー終了時間になると、録画/停止ランプが消灯し、録画が終了します。

(4) 通常録画またはタイマー録画には下記の制限事項があります。

- メニューの“記録画質”または“音声記録”を設定変更しカメラ画面に戻った直後、通常録画操作またはタイマー録画操作は受けつけますが、最大6秒間は録画動作を行いません。
- 録画動作終了直後（点灯していた録画 / 停止ランプが消灯）、通常録画操作またはタイマー録画操作は受けつけますが、最大10秒間は録画動作を行いません。

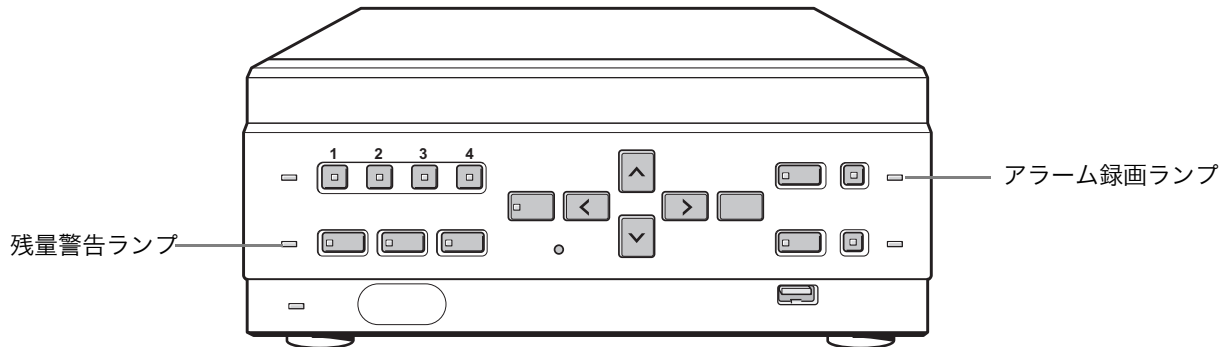
メモ

- 記録残量がゼロになると録画が終了して残量警告ランプが点灯します。上書記録設定の変更により最初から記録することができます。(→P.34)
- 録画中も再生できます。詳細については17 ページを参照してください。

タイマー録画を途中で終了する

2 [タイマー録画]ボタンを押す

タイマー録画ランプが消灯し、録画が終了します。

異常検出時に録画する（アラーム録画）

モニター上に設定したモーションセンサーまたはアラーム入力端子に接続したアラームセンサーが異常を検出したときに、アラーム映像を録画することができます。

ご注意

アラーム端子に、アラームに必要な機器のケーブルを接続していることを確認してください。（→P.10）

メモ

モーションセンサーを設定すると､被写体の動きを検出したときに、アラーム映像を録画することができます。（→P.31）

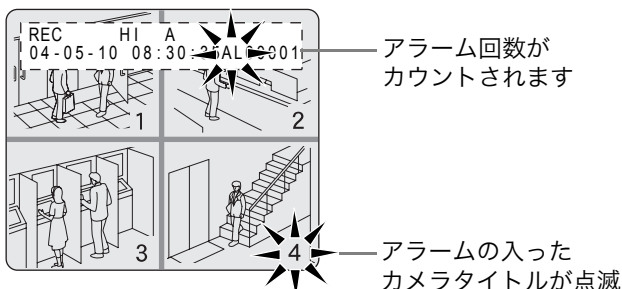
アラーム録画を設定する

メインメニューの［3.記録設定］の［アラーム記録設定］で［アラーム記録］の設定を“切”以外に設定し、アラームトリガーを必要な条件に合わせます。（→P.36）

初期設定では、以下のように設定されています。

アラーム記録	切	アラーム録画を行なわない。
記録持続期間	20秒	アラームが設定されているときに､アラーム信号が1回入ると20秒間録画する。
アラーム トリガー	外部	アラームセンサーが異常を検出したときに録画が始まる。
VIDEO LOSS	入	カメラ映像が切れたときに､画面に“VIDEO LOSS”を表示し､後面端子に警告信号を出力する。

異常を検知した場合

アラームトリガーの設定に合致した異常が検出されると操作表示部に以下の表示をおこない、アラーム映像が録画されます。

- 操作表示部に“AL”を表示します。
- アラーム録画中に新たに異常を検出した場合は、その時点からアラーム録画を延長します。この場合、新たな異常が同一センサーの異常の場合には、アラーム録画としてカウントされませんが、異なるセンサーの異常の場合には、アラーム録画としてカウントします。
- アラームの履歴（記録リスト）は、最新の49,999件まで残ります。それ以前の古い履歴は残りません。
- アラームの入ったカメラタイトルが点滅します。
- パネルのアラーム録画ランプが点滅します。

アラーム録画の終了

アラーム持続期間（初期設定：20秒）が終了すると操作表示部の“AL”表示とアラーム録画ランプの点滅が終了し、録画が終了します。

メモ

- ハードディスクの記録残量がゼロになると、残量警告ランプが点灯して録画が終了します。記録設定の変更により最初から記録することができます。（→P.34）
- アラーム録画は、[3.記録設定]－[通常記録設定]－[記録画質]の設定画質（設定時間）で記録されます。（→P.34）

ご注意

アラーム録画動作には下記の制限事項があります。

(1) 録画動作開始直後（停止状態→録画/停止ランプ点灯）

(2) メニューの[記録画質]または[音声記録]を設定変更し、カメラ画面に戻った直後

（1）および（2）の場合：

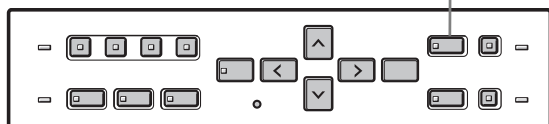
- 最大4秒間はアラーム入力を受けつけませんが、それ以降はアラーム入力を受けつけます。
- 最大6秒間はアラーム入力に対して録画動作を行いません。

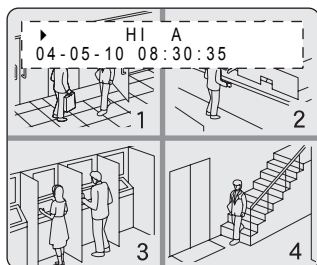
(3) 録画動作終了直後（点灯していた録画/停止ランプが消灯）

- 最大5秒間はアラーム入力を受けつけませんが、それ以降はアラーム入力を受けつけます。
- 最大10秒間はアラーム入力に対して録画動作を行いません。

3. 再生する

ハードディスクに録画した映像を再生します。

再生する

1 [再生/停止]ボタンを押す

[再生/停止]ボタンが点灯し、操作表示部に“▶”が表示されます。ハードディスクに録画された映像を4分割画面で再生します。

メモ

- 映像の再生は録画を開始した時点から再生します。
- 通常記録設定の“上書き記録”で録画し、初めて再生する場合は、もっとも古い録画映像から再生します。
- 再生が終わると自動的に一時停止状態になります。
  操作表示部は一時停止（▮▮）の表示となり、[一時停止]ボタンが点灯します。
- 一度でも再生すると、前回、再生を終了した時点から再生が始まります。
- 4 分割画面を 1 画面で表示することができます。(→P.14)

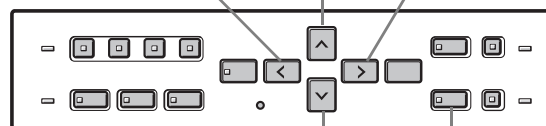
再生を終了する

2 [再生/停止]ボタンを押す

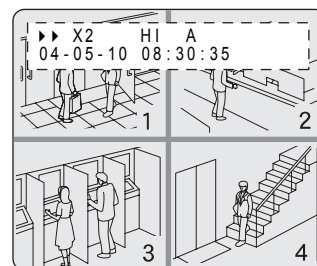
再生が終了します。

■ 録画している付近を再生した場合

記録を優先とした処理をおこなっているため、再生画像が一時的に静止画になることがあります。

早送り、早戻し再生するときは

再生中または静止画中に、[>]（早送り）または[<]（早戻し）ボタンを押す

[>]（早送り）ボタンを押すと操作表示部に▶▶が表示され、再生の2倍速で早送りします。
[<]（早戻し）ボタンを押すと操作表示部に◀◀が表示され、再生の2倍速で早戻しをします。

早送りのスピードを変更する

早送り中に[∧]ボタンを押す

１回押すと7.5倍速、２回押すと15倍速、3回押すと30倍速、4回押すと180倍速になります。

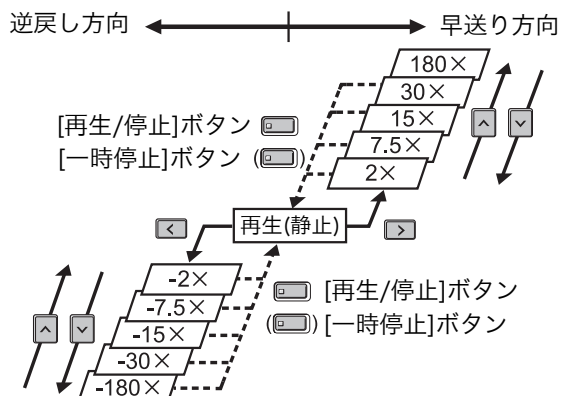
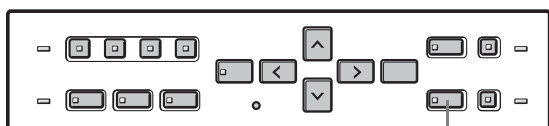
早戻しのスピードを変更する

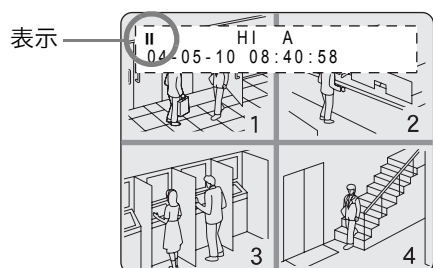
早戻し中に[∨]ボタンを押す

１回押すと7.5倍速、２回押すと15倍速、3回押すと30倍速、4回押すと180倍速になります。

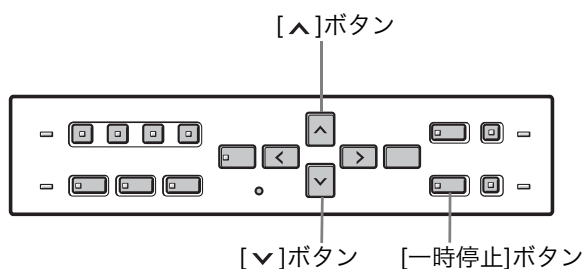
早送り、早戻しをやめる

[再生/停止]ボタンを押す

通常の再生になります。

静止画で見る

1 再生中に[一時停止]ボタンを押す

映像が静止画になります。
操作表示部に⏸が表示されます。

再生に戻す

2 [一時停止]ボタンを押す

コマ送り(正逆)する

静止画中に[∧]ボタンを押す

静止画が1コマ進みます。

静止画中に[∨]ボタンを押す

静止画が3コマ戻ります。

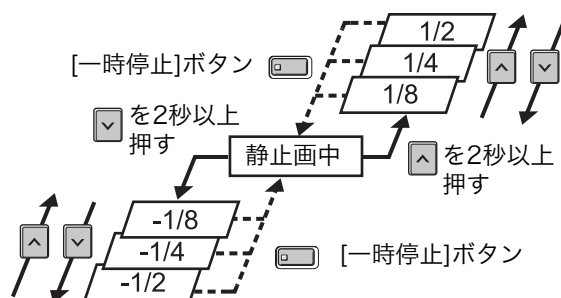
スロー再生する

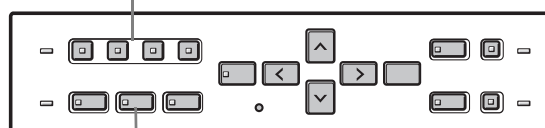
静止画中に[∧]ボタンを２秒以上押す

1/8倍速になります。
さらに[∧]ボタンを１回押すと1/4倍速
２回押すと1/2倍速になります。

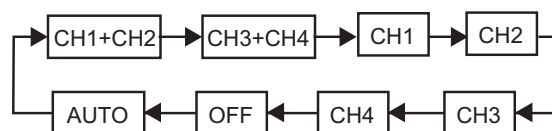
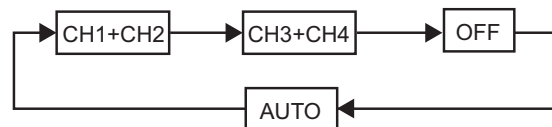
スロー逆再生する

静止画中に[∨]ボタンを２秒以上押す

1/8倍速になります。
さらに[∨]ボタンを１回押すと1/4倍速
２回押すと1/2倍速になります。

音声を切り換える

音声のオン / オフと、音声チャンネルの切り換えができます。

[音声切換]ボタンを押す

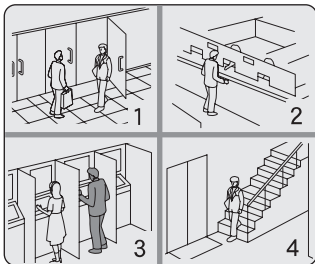
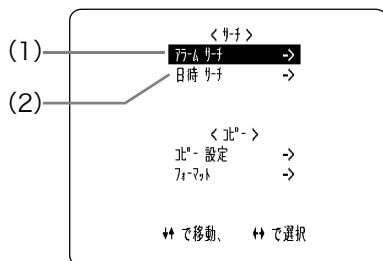
音声設定のモード中は、[音声切換]ボタンが点滅します。
ボタンを押すごとに以下のように切り換わります。
再生の音声チャンネルは、チャンネルランプが点灯します。

録画中

再生中

ご注意

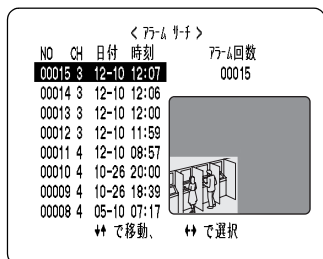
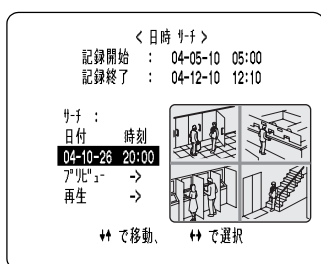
- 再生中では、１つのチャンネルだけの音声を確認することはできません。

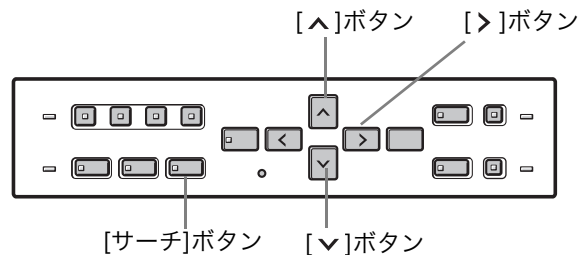
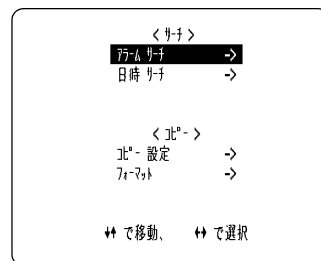
4. 録画した映像を検索する

ハードディスクに録画している映像を、検索して再生することができます。検索は2種類の方法があります。

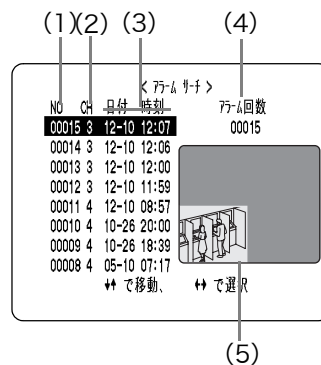
検索する画像

〈サーチ〉画面で検索

メモ

再生した映像は、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。

(1) アラームサーチ
アラーム録画された映像を検索して再生します。

(2) 日時サーチ（→P.20）
録画されている映像を、日付・時間で検索して再生します。

アラームサーチ

ハードディスク内の全てのアラーム映像を検索して再生します。

1 録画中または停止中に、[サーチ]ボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示されます。

2 “アラームサーチ”が選択されていることを確認して、[＞]ボタンを押す

検索画面が表示されます。

(1) NO：
アラームの番号を表示します。

(2) CH：
アラームの入った映像のチャンネルを表示します。

(3) 日付/時刻：
アラームを受けて録画した映像の日付・時間を表示します。

(4) アラーム回数：
録画されているアラーム映像の総数を表示します。

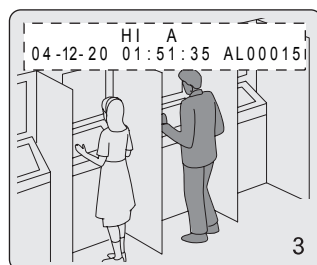
(5) プリビュー画面：
選択されているアラーム映像を 4 分割画面で表示します。

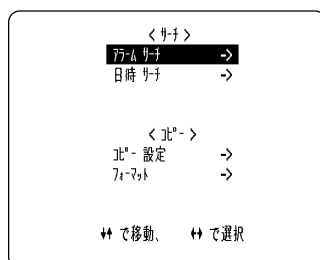
3 **[∧]または[∨]ボタンで、再生したい映像を選択する**

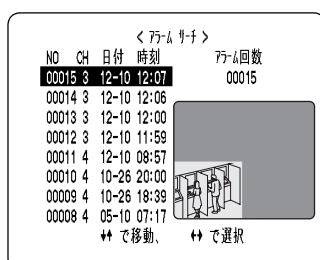
選択したアラーム映像が、プリビュー画面に表示されます。画面に表示できるアラーム映像は８件までです。

- 次（前）の画像を表示するには
  [∧]または[∨]ボタンを押します。
- 次ページの項目を表示するには
  [メニュー]ボタンを押します。次の8件の履歴が表示されます。
- サーチモードを終了するには
  [終了/画面表示]ボタンを押します。

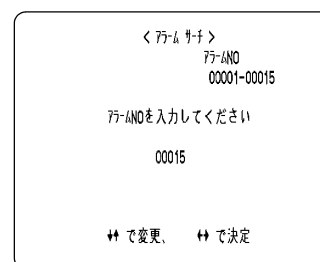
4 **[＞]ボタンを押す**

フル画面で再生します。

アラームNOを直接指定して表示することもできます

1 **録画中または停止中に、[サーチ]ボタンを押す**

〈サーチ〉画面が表示されます。

2 **“アラームサーチ”が選択されていることを確認して、[＞]ボタンを押す**

検索画面が表示されます。

3 **[サーチ]ボタンを押す**

“アラームNO”入力画面が表示されます。
カーソルは入力位置に移動しています。

4 **表示したい画像のアラームNOを入力する**

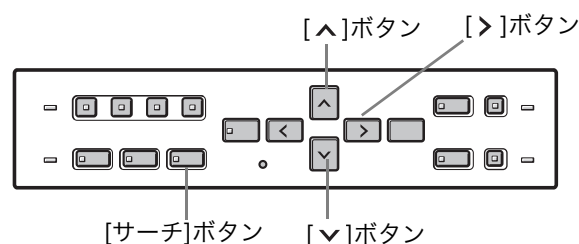
“アラーム NO”で検索できる番号を表示しています。この中から検索したい画像に近い番号を入力してください。
番号は[∧]または[∨]ボタンで変わります。
カーソルは[＞]ボタンで移動します。

ｱﾗｰﾑNOを入力してください

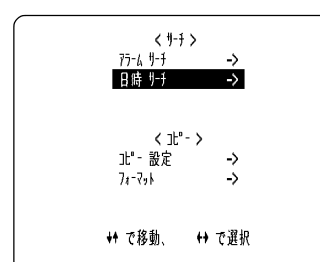
5 **[＞]ボタンを押す**

入力したアラームNOの画像が表示されます。

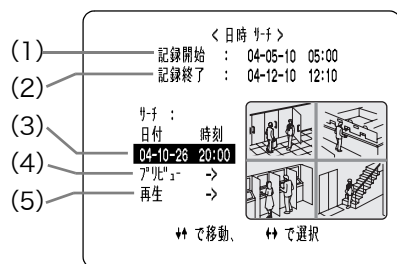
日時サーチ

ハードディスクに記録した映像の、日付と時間を指定して再生することができます。

1 **録画中または停止中に[サーチ]ボタンを押す**

〈サーチ〉画面が表示されます。

2 **[∧]または[∨]ボタンで、“日時サーチ”を選択する**

（次ページに続く）

3 [>]ボタンを押す

〈日時サーチ〉画面が表示されます。

(1) 記録開始：
最初に録画した映像の日付・時間を表示します。

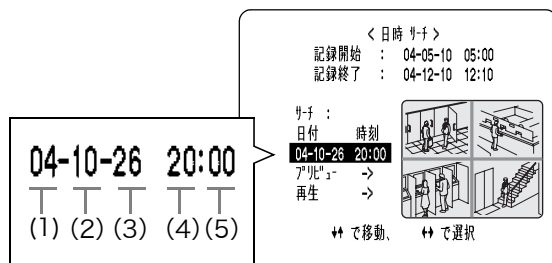
(2) 記録終了：
最後（最新）に録画した映像の日付・時間を表示します。

(3) サーチ：
再生したい日付・時間を入力します。

(4) プリビュー：
選択するとプリビュー画面を表示します。

(5) 再生：
選択すると4画面で再生します。

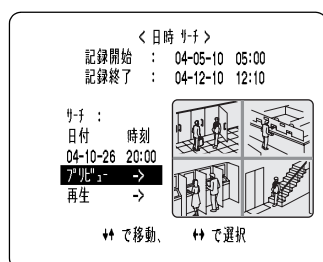
4 [>]ボタンを押して、検索する日付・時刻を入力する

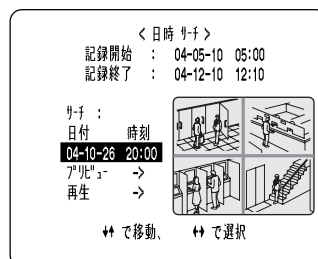
例：2004年10月26日　午後8時を検索する

(1) [∧]または[∨]ボタンを押して“04”（年）を選択する。

(2) [>]ボタンを押して、[∧]または[∨]ボタンで“10”（月）を選択する。

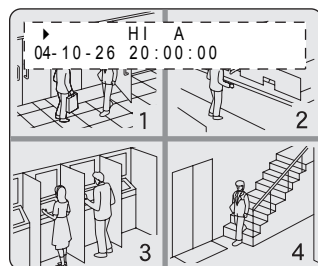
(3) [>]ボタンを押して、[∧]または[∨]ボタンで“26”（日）を選択する。

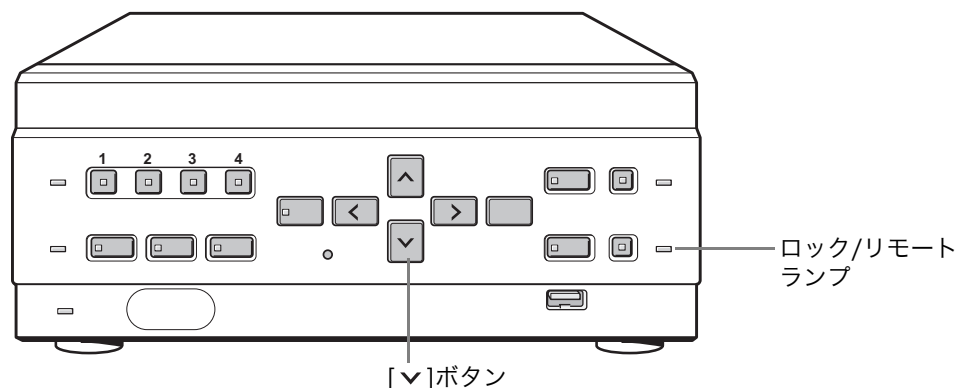
(4) [>]ボタンを押して、[∧]または[∨]ボタンで“20”（時）を選択する。

(5) [>]ボタンを押して“00”（分）を選択し、[>]ボタンを押す。
カーソルがプリビューに移動します。

5 [>]ボタンを押す

- 時刻が一致する画像がない場合
  入力した日時にもっとも近い映像が表示されます。
- サーチモードを終了するには
  [終了/画面表示]ボタンを押します。

6 [∨]ボタンで“再生”を選択し、[>]ボタンを押す

プリビュー画面を４分割画面で再生します。

メモ

- プリビュー画面を表示させなくても、日付・時間を入力して“再生”を選択して再生すると、４分割画面で表示させることができます。
- 再生した映像は、各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。
- ４分割画面を１画面で表示することができます。(→P.14)

5. 誤操作の防止(キーロック)のしかた

間違えて操作ボタンを押してしまわないようにするために、キーロックを設定することができます。

キーロックを設定する

録画または停止状態で、[ ]ボタンを約3秒間押す

キーロックが設定されると、「ピピピッ」という確認音が鳴り、ロック/リモートランプが点灯します。

メモ

- 電源を切っても、キーロックの設定は解除はされません。
- 再生中はキーロックできません。

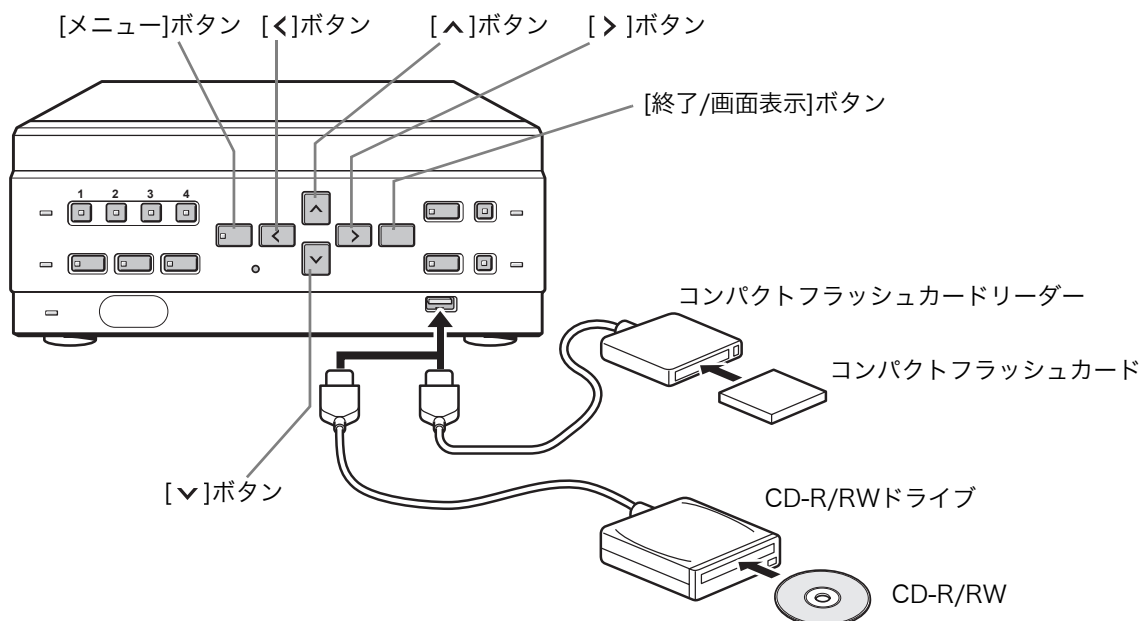
キーロックを解除する

キーロック状態で[ ]ボタンを約3秒間押す

キーロックが解除されると、「ピピピッ」という確認音が鳴り、ロック/リモートランプが消灯します。

ご注意

- キーロックの設定中は、ボタンでの設定や操作はできません。
- すでにセキュリティロックを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。(→P.46)
- セキュリティロックを設定する場合は、キーロックのみの設定をすることができません。

6. 録画した映像を外部メディアにコピーする

録画した映像をCF（コンパクトフラッシュ）カード、CD-R/RW にコピーできます。また、CF カード、CD-RW のフォーマットもできます。

ご注意

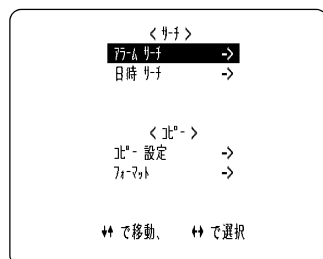
- 映像のコピー中は電源を切らないでください。
- CD-R/RWへはシングルセッションで書き込みます。一度書き込むと、空き容量があっても書き込みできなくなります。
- 容量の大きなデータをコピーする場合は、同種類の複数のメディアへ分割してコピーすることができます。
- CFカードにコピーするときは、2MB以上の空き容量が必要です。

メモ

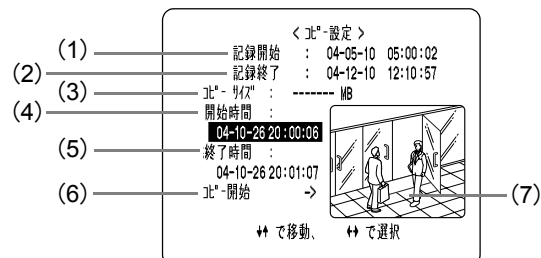
- コピー先のメディアがCFカードか、CD-R/RWかは自動判別します。
- セキュリティロック設定の「CD-R/CFコピー」は“使う”に設定してください。(→P.44)

メディアにコピーする

本体前面の USB 端子にコンパクトフラッシュカードリーダ、または、CD-R/RWドライブを接続してください。

1 録画中、静止画中、または停止中に［サーチ］ボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示されます。

2 ［∧］と［∨］ボタンで“コピー設定”を選択し、［>］ボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示されます。

(1) 記録開始：
最初に録画した映像の日付・時間を表示します。

(2) 記録終了：
最後（最新）に録画した映像の日付・時間を表示します。

(3) コピーサイズ：
“開始時間”から“終了時間”までの画像のデータ量を1MB単位で表示します。
画像のデータ量が1MB以下のときは“-----”と表示され、コピーを開始することができません。

(4) 開始時間：
コピーを開始する日・時を指定します。

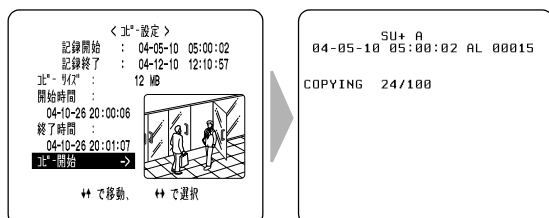
(5) 終了時間：
コピーを終了する日・時を指定します。
“開始時間”より以前の日・時は指定できません。

(6) コピー開始：
選択するとコピーを開始します。

(7) プリビュー：
“開始時間”、または“終了時間”で指定した日・時の画像が表示されます。

3 ［∧］と［∨］ボタンで“開始時間”と“終了時間”を指定し、［>］ボタンを押す

4 ［∧］と［∨］ボタンで“コピー開始”を選択し、［>］ボタンを押す

コピーが開始されます。

コピーが終了すると、“COPY FINISHED”と表示され、どれか操作ボタンを押すと、ライブ画像の表示に戻ります。

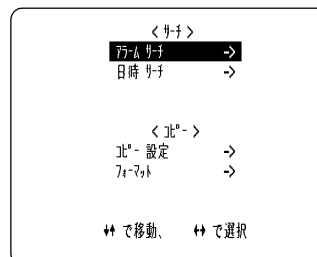
メモ

- コンパクトフラッシュカード、CD-R/RW には、以下のように画像がコピーされます。
  例：本機の DVR タイトルが“FRONT”、コピーする画像の先頭日時が4月25日10時15分の場合

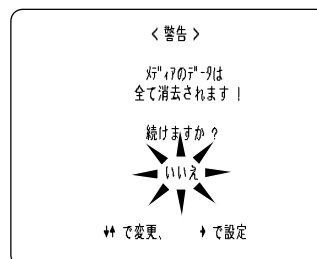
```
コンパクトフラッシュカード、CD-R/RW
└── FRONT ──┬ 0425-1015.mp2
    (1)     ├ 0425-1015-1.mp2
            └ 0425-1015-2.mp2
                  (2)
```

  (1)コンパクトフラッシュ、CD-R/RWにDVR タイトルのフォルダが作成される。
  (2)そのフォルダに日時のファイル名でファイルが作成される。
- DVR タイトルが未設定の場合は、“VDH-M814”という名前でフォルダが作成されます。
- DVR タイトルに“/”、“＊”、“.”、“：”が使用されている場合は“＋”に置き換えられます。
- コピーした CF カードの空き容量へ追加する場合は、“フォルダ名-1”等になります。

コンパクトフラッシュカード、CD-RWのフォーマット

1 録画中、または停止中に［サーチ］ボタンを押す

〈サーチ〉画面が表示されます。

2 ［∧］と［∨］ボタンで“フォーマット”を選択し、［>］ボタンを押す

〈警告〉画面が表示されます。
“いいえ”が点滅します。

3 ［∧］と［∨］ボタンで“はい”を選択し、［>］ボタンを押す

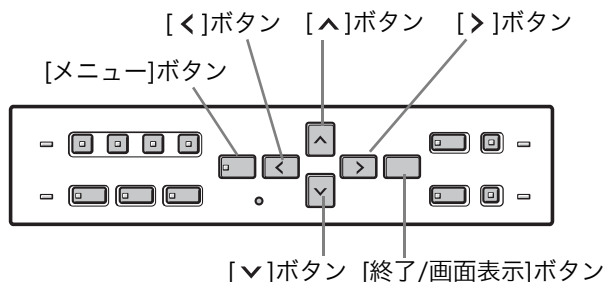
フォーマットを開始します。

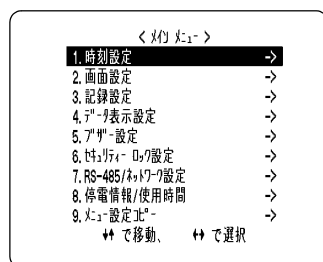
フォーマットが終了すると、“フォーマット完了！”と表示され、［<］ボタンで〈サーチ〉画面に戻ります。

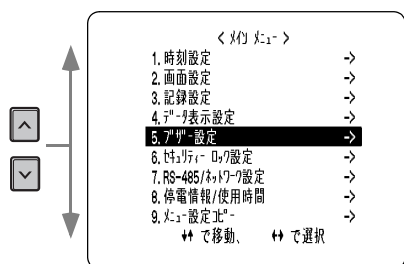
使いかた

1. 設定メニューの構成と内容

メニューの構成と、用途に合ったメニューの選びかたについて説明します。

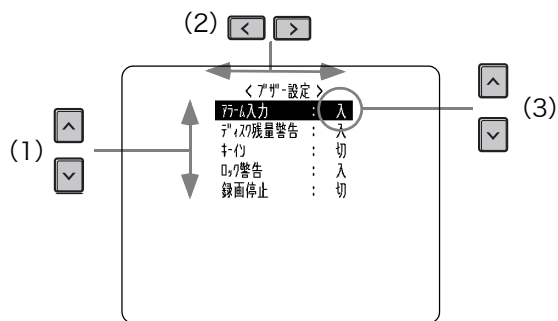
メニュー画面の操作方法

1 [メニュー]ボタンを押す

〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 [∧]または[∨]ボタンで項目を選択する

(例：5. ブザー設定)
カーソルを移動すると選択項目が反転します。

3 [>]ボタンを押す

選択した項目の設定画面が表示されます。
カーソルは最初の設定項目に移動します。
項目によっては、さらに選択するメニューが表示される場合があります。

設定内容を変更する

設定画面では、[∧][∨][<][>]ボタンを使用して各項目を変更します。

(1) カーソルの上下の移動
[∧]または[∨]ボタンを押す。

(2) カーソルを右へ移動、または設定項目への移動
[<]または[>]ボタンを押す。

(3) 設定値の変更
[∧]または[∨]ボタンを押す。

4 設定が終ったら[終了/画面表示]ボタンを押して終了する

通常の画面に戻ります。

- メニュー画面は、録画中は表示できますが、再生中は表示できません。
- [<]ボタンを押すと、サブメニューからメニュー画面に戻ります。

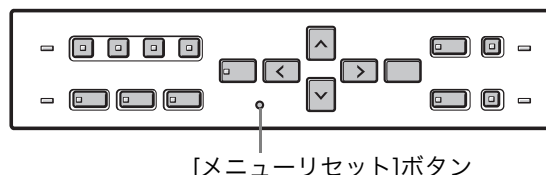
録画中にメニューの設定を変更することはできません。

設定を初期値に戻す

画面に表示させた設定の内容だけを初期値に戻すことができます。

1 初期値に戻したい設定画面を表示する

2 [メニューリセット]ボタンを押す

表示されている設定が初期値に戻ります。

設定メニューについて

以下の画面は、メインメニューで各項目を選択したときに表示される画面です。
[メニュー]ボタンを押すごとに、このページの各画面を順に表示させることができます。

1. 時刻設定(→P.27)

次の設定ができます。

- 本機の日付と時刻の設定
- 外部機器との時刻調整

2. 画面設定(→P.29)

画面に関する次の設定ができます。

- 画面の表示方法の変更
- カメラの名称設定
- 被写体の動きを検知するモーションセンサーの設定

3. 記録設定(→P.33)

録画に関するいろいろな設定や、ハードディスクの初期化ができます。

4. データ表示設定(→P.42)

操作表示部の文字を表示させたり、非表示にすることができます。

5. ブザー設定(→P.43)

警告音を設定することができます。

6. セキュリティロック設定(→P.44)

パスワードを設定することで、設定者以外の者が本機を操作できないようにすることができます。

7. RS-485/ネットワーク設定(→P.47)

RS-485で外部の機器と接続する場合や、ネットワーク(LAN)経由でコンピューターと接続する場合の設定ができます。

8. 停電情報/使用時間(→P.50)

停電の日時やハードディスクの使用時間などを確認することができます。

< 停電情報/使用時間 >

停電情報	発生日時	復旧日時
004回	09-09 11:16	09-09 13:17
	09-09 10:48	09-09 10:49
	09-09 10:40	09-09 10:41
	09-08 12:53	09-09 10:10

ﾃﾞｨｽｸ1 : 00012 H
ﾃﾞｨｽｸ2 : ----- H
通電時間 : 00012 H

ﾌｧｰﾑｳｪｱｰ : ﾒｲﾝ 0.50-00 / ｻﾌﾞ 0.50-00

9. メニュー設定コピー(→P.51)

メニュー設定値をコンパクトフラッシュカードに保存することができます。
また、コンパクトフラッシュカードに保存したメニュー設定値を呼び出すこともできます。
コンパクトフラッシュカードのフォーマットができます。

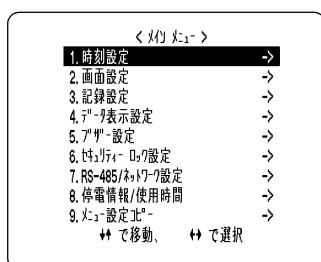
< ﾒﾆｭｰ設定ｺﾋﾟｰ >

DVR TYPE VER. SAMQ-02

ﾒﾆｭｰをｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭにｾｰﾌﾞ ->
ﾒﾆｭｰをｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭからﾛｰﾄﾞ ->
＊ ﾐﾗｰﾘﾝｸﾞ設定のｺﾋﾟｰ : いいえ
ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭのﾌｫｰﾏｯﾄ ->

＊ ﾐﾗｰﾘﾝｸﾞ設定をｺﾋﾟｰすると
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸを初期化することがあります!

2. 本機の時刻を設定する

〈メインメニュー〉

以下の設定ができます。

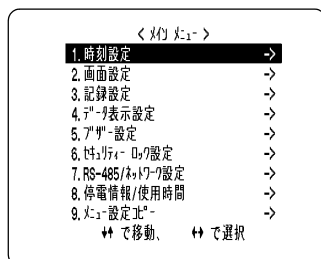
- 通常の画面に表示される日付や時刻の設定をする。
- 複数の機器を接続したときに、すべての機器を同じ時刻にする。

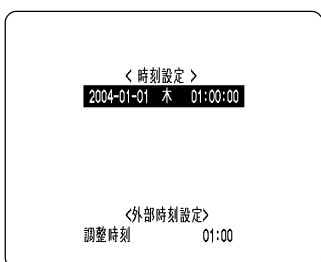
時刻の設定のしかた

（初期設定：2004-01-01　木 00：00：00）
必ず正確な日付・時刻の設定をおこなってください。本機は録画した時刻を記憶して再生やサーチ再生などをおこないます。

例：2004年5月10日の8時30分に設定

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “時刻設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈時刻設定〉画面が表示されます。

3 [>]ボタンを2回押す

月の“01”が点滅します。

2004-01-01　木　01:00:00

4 [∧]または[∨]ボタンを押して、“05”を選択する

2004-05-01　土　01:00:00

5 [>]ボタンを押す

日の“01”が点滅します。

2004-05-01　土　01:00:00

6 同じ手順で日（10）、時（08）、分（30）を設定する

2004-05-10　月　08:30:00

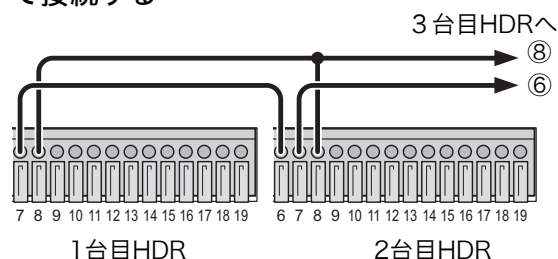
- “曜日”は自動で設定されます。
- 時計の設定中は、時刻が停止します。

7 [終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

他のVDH-M814と時刻を合わせる（2台以上接続のとき）

本機を２台以上接続したときの時刻設定のしかたについて説明します。設定時刻を５時にしておくと、接続しているすべての機器が毎日５時になると、秒単位で同じ時刻に調整されます。
（初期設定：01：00）

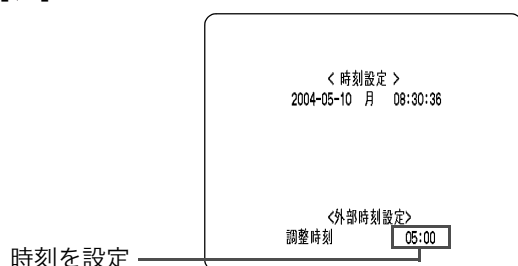
1 本機後面パネル時刻合わせ出力端子と、2台目の時刻合わせ入力端子間をケーブルで接続する

端子No.
6 : 時刻合わせ入力
7 : 時刻合わせ出力
8 : アース

メモ
ループ接続はしないでください。

2 [∨]または[∧]ボタンでカーソルを“調整時刻”に移動する

3 [>]ボタンを押す

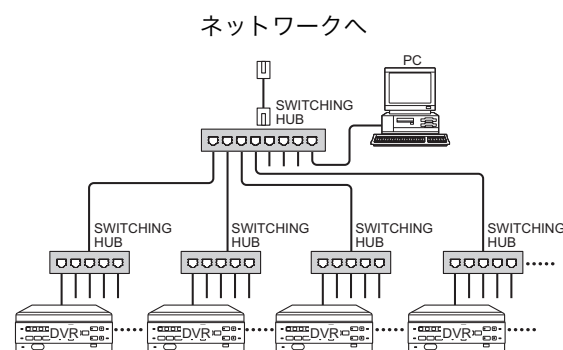
“01”が点滅します。

4 [∨]または[∧]ボタンで時刻を設定し、[>]ボタンを押す

5 設定が終ったら[終了/画面表示]ボタンを押す

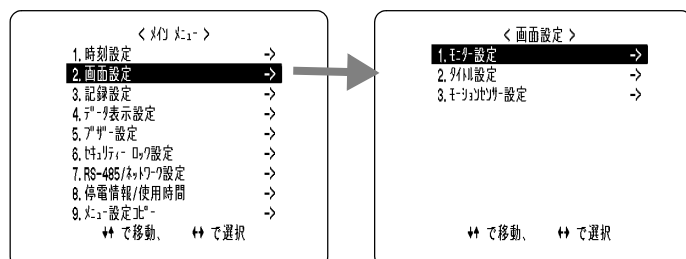
通常の画面に戻ります。

6 手順２〜５を繰り返して２台目の時刻を設定する

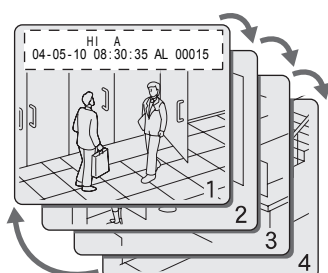
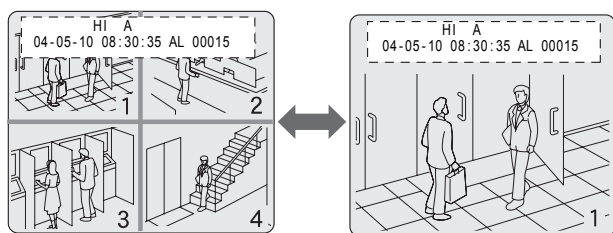
設定が終了したら通常の画面に戻ります。

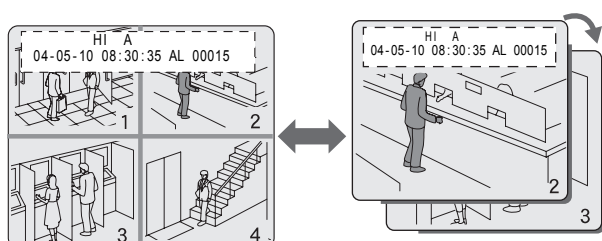
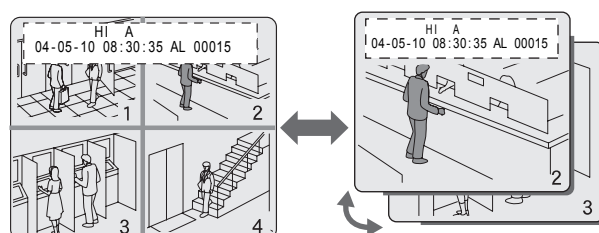
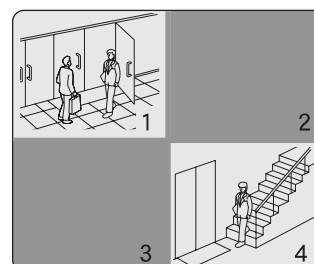
コンピューターなどの外部機器とネットワーク接続していると、外部機器からも時刻設定をおこなうことができます。コンピューターと接続している場合は、アプリケーションソフトウェア(VA-SW81LITE Ver.2/VA-SW814 Ver.2) の取扱説明書を参照してください。

ご注意

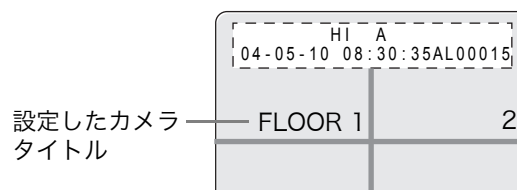
- “調整時刻”では、２台目以降のセットも１台目と同じ時刻の設定が必要です。
- ループ接続はしないでください。

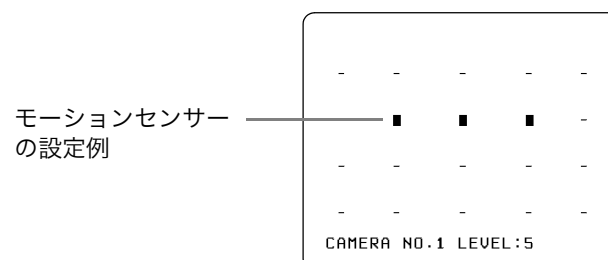
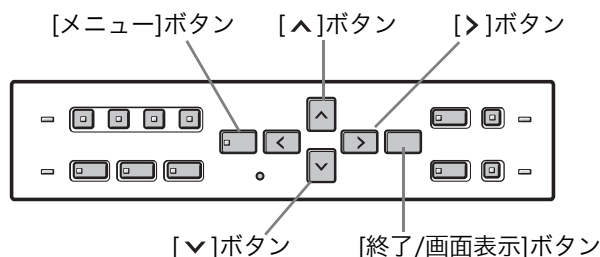
3. 画面設定

画面設定でできること

モニター設定

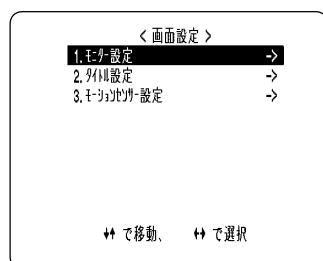
- １画面を順次切り換えて表示する場合の、切り換わる時間間隔を設定します。（自動切換）

- アラームが発生したとき、アラームの発生したチャンネルを、１画面または４画面で表示するかを設定します。（ディスプレイ表示）

- アラーム録画中に別のチャンネルのアラームが発生したときの、アラーム録画画面の表示方法を設定します。（複数アラーム時表示）

例1：アラーム発生順に表示する

例2：アラーム映像を1画面で順次切り換えて表示する

- 通常画面および再生画面で、モニタに一部のチャンネル映像を表示させないように設定します。（マスク設定）

タイトル設定

- カメラ番号に名称を設定します。

モーションセンサー設定

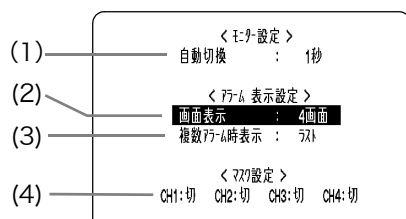
- モニタ上にモーションセンサーを設定し、被写体の動きを検出したときに、アラーム記録をおこなう設定をします。

表示方法を設定する

1 **[メニュー]ボタン押す**

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 **“2.画面設定”を選択し、[>]ボタンを押す**

〈画面設定〉画面が表示されます。

3 **“1.モニター設定”を選択し、[>]ボタンを押す**

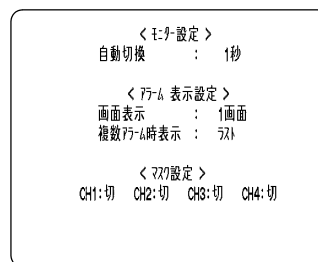
〈モニター設定〉画面が表示されます。

4 **[∨]または[∧]ボタンで設定を変更したい項目を選び、[>]ボタンを押す**

設定内容（◆は初期設定値です）

	項目	設定	設定の内容
(1)	自動切換	1～30秒（1秒単位）◆ 1秒	1画面を順次切り換えて表示する場合の、切り換わる時間間隔を設定する。
(2)	画面表示	1画面	アラーム時に、アラーム該当チャンネルを1画面で表示する。
		◆ 4画面	アラーム時の表示を4分割画面にする。
(3)	複数アラーム時表示	◆ ラスト	複数のアラームが重なった場合、後から受けたアラーム映像を優先して表示する。
		トップ	複数のアラームが重なった場合、最初に受けたアラーム映像のみを表示し、後から入ったアラーム映像は表示しない。
		切換	複数のアラームが重なった場合、重なったアラーム映像を1秒間隔で切り換えて表示する。
(4)	マスク設定 CH1/2/3/4	入	設定したチャンネルの映像を画面に表示しない。また、音声も出力しない。
		◆ 切	映像を画面に表示する。また、音声も出力する。

! ご注意

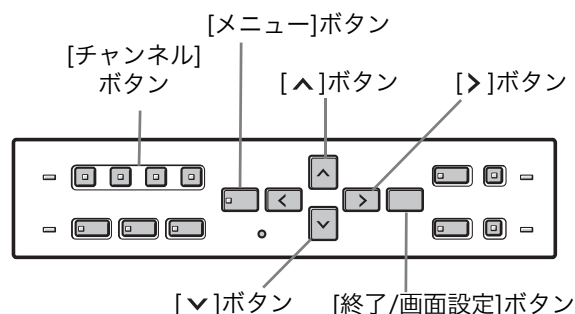
“複数アラーム時表示”の設定は、“画面表示”設定が“1画面”のときだけ有効となります。

5 **[∨]または[∧]ボタンで設定を変更し、[>]ボタンを押す**

6 **手順4、5を繰り返して他の項目を変更する**

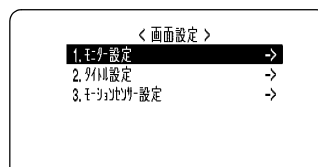
7 **設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。

カメラに名前をつける

名前は最大10文字まで入力ができます。
入力できる文字・記号：0～9、A～Z、－：. / ＊ _ (スペース)

1 **[メニュー]ボタンを押す**

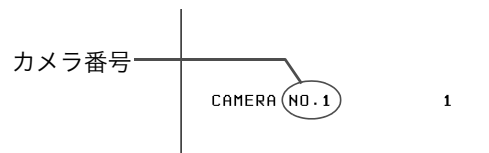
[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 **“2.画面設定”を選択し、[>]ボタンを押す**

〈画面設定〉画面が表示されます。

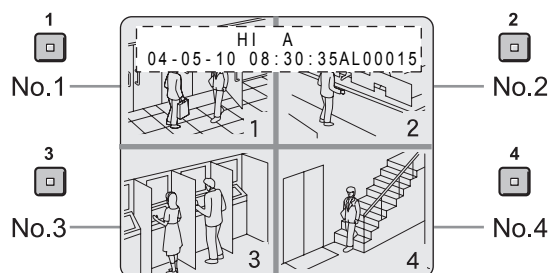
3 **“2.タイトル設定”を選択し、[>]ボタンを押す**

〈CAMERA NO.1〉画面が表示されます。

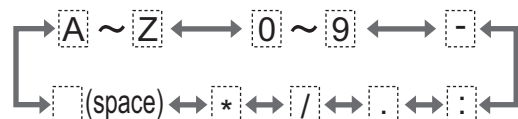
（次ページに続く）

設定

初期値は、以下の設定になっています。

CAMERA No.	初期値
CAMERA NO.1	1
CAMERA NO.2	2
CAMERA NO.3	3
CAMERA NO.4	4

4 [チャンネル]ボタンでCAMERA No.を選択する

5 [＞]ボタンを押して入力状態にする

6 [∨]または[∧]ボタンで入力を開始する

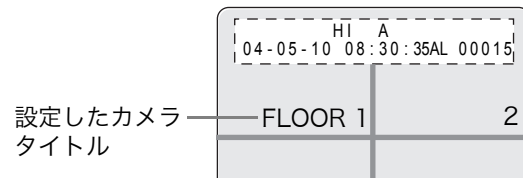
10文字までの文字・記号を入力できます。
[∧]または[∨]ボタンを押すごとに、次の順序で表示されます。

入力例："FLOOR 1"を表示します。

7 [＞]ボタンを押す

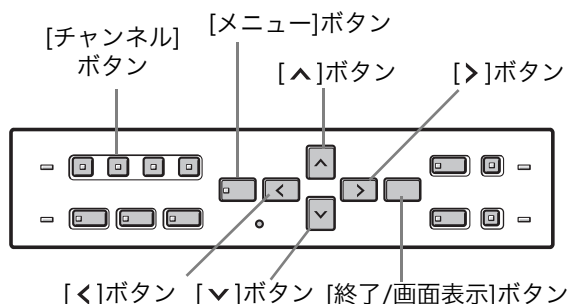
表示された文字が確定され、カーソルは右へ移動します。

8 手順6、7を繰り返し2文字目以降を入力する

9 設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。
画面には、設定したカメラタイトルが表示されます。

モーションセンサーを設定する

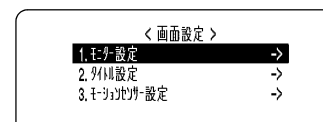
画面上にモーションセンサーを設定すると、被写体の動きを検出して、自動的にアラーム記録をおこなうことができます。
ここでは、下記の項目について設定できます。

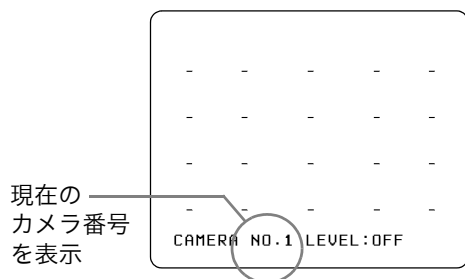
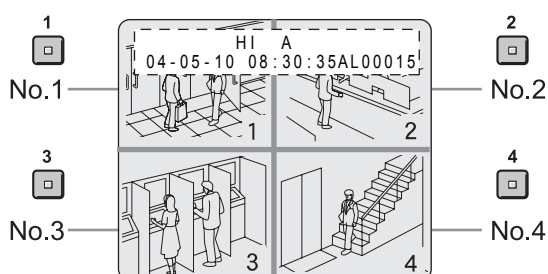
- 画面上のモーション検出位置
- モーションセンサーを設定するCAMERA No.
- モーションセンサーのLEVEL（初期設定は "OFF" です）

1 [メニュー]ボタンを押す

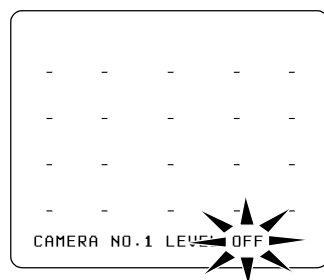
[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 "2.画面設定"を選択し、[＞]ボタンを押す

〈画面設定〉画面が表示されます。

設定

3 “3. モーションセンサー設定”を選択し、[＞]ボタンを押す

CAMERA No.1のモーションセンサーの設定画面が表示されます。

4 [チャンネル]ボタンでCAMERA No.を選択する

5 [＞]または[＜]ボタンでLEVELを選択して、[∨]または[∧]ボタンで感度を設定する

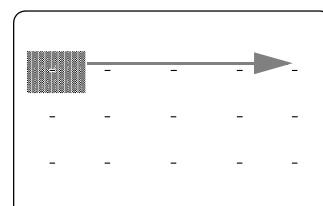
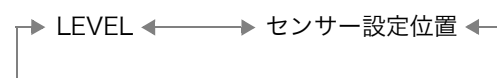
LEVELは、1〜10の範囲で設定できます。数値が低いほど感度が高くなります。(初期値：OFF)

メモ

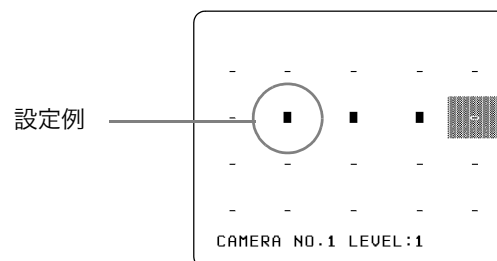
センサー設定感度の状態は「ピッ」という音で確認してください。

6 [＞]または[＜]ボタンでセンサー作動位置(20か所)を選び、[∨]または[∧]ボタンで設定する

画面上の任意の位置にセンサー作動位置を設定してください。

- カーソルの移動

[＞]ボタンを押すごとに、カーソルは1行目の左から右に移動します。つづいて次の行の左から右へ移動します。
[＜]ボタンでカーソルは逆方向に移動します。

[＞]・[＜]ボタンを押し続けると、カーソルは次のように移動します。

- センサーの作動位置の設定

[∨]または[∧]ボタンを1回押すと“入”(■を表示)、もう1回押すと“切”(－表示)になります。

メモ

- 作動位置の設定例

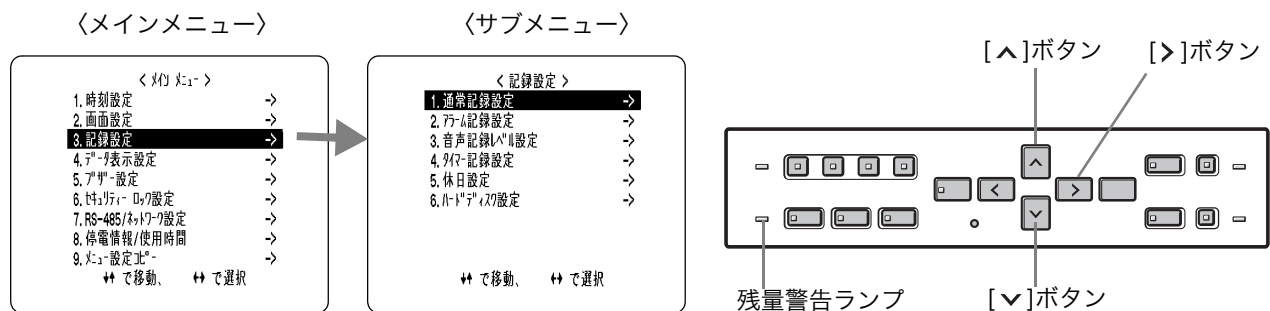
画面中央付近に設定すると、画面中心付近で被写体の動きがあったときにセンサーが作動して録画します。

7 設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

ご注意

モーションセンサーが動きを検出したときにアラーム録画をするには、〈記録設定〉画面を表示して、“アラーム記録設定”の“アラームトリガー”を“外部”以外に設定してください。(→P.36)

4. 記録設定

記録設定でできること

録画に関する以下の設定ができます。

	項目	設定の内容
1	通常記録設定	記録画質を変更する。 音声記録の「入/切」を設定する。 ハードディスクの容量がいっぱいになったときに、録画を停止するか、上書きするかを設定する。 シリーズ記録の設定をする。
2	アラーム記録設定	アラーム録画の「入/切」を設定する。 アラーム発生時の録画時間を設定する。 アラームトリガーを設定する。 カメラの映像が途切れたときの設定。
3	音声記録レベル設定	チャンネルごとの録音レベルを設定する。
4	タイマー記録設定	タイマーを使った録画の設定。
5	休日設定	日曜以外の指定日を休日に設定する。
6	ハードディスク設定	ハードディスクの初期化と増設時のミラーリング設定をおこなう。

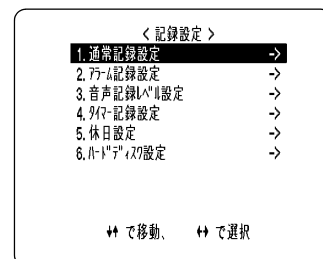
本機を複数台接続して、シリーズ記録をおこなう場合

HDRを複数台接続して、1台目のハードディスクの容量がいっぱいになると2台目のハードディスク（複数台）に自動的に録画することができます。
〈通常記録設定〉の「上書き記録」を“切”に、「シリーズ記録」を“−1分〜−3分”に設定してください。(→P.34)

記録に関する基本設定

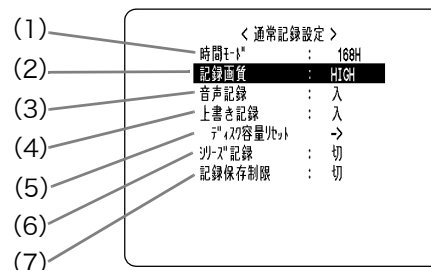
1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “3.記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

3 [>]ボタンを押す

〈通常記録設定〉画面が表示されます。

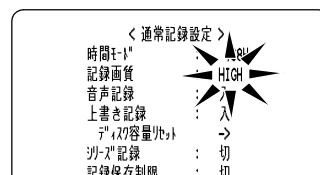
4 [∨]または[∧]ボタンで設定を変更したい項目を選び、[>]ボタンを押す

メモ

“時間モード”は“記録画質”の設定によって自動的に時間が変わります。

設定内容（◆は初期設定値です）

	項目	設定	設定の内容
(1)	時間モード	ー	録画できる時間を表示する。
(2)	記録画質	SUPER+ (SU+)	最高画質／録画時間:120GB＝56時間以上､240GB＝112時間以上
		SUPER (SUP)	最高画質／録画時間:120GB＝84時間以上､240GB＝168時間以上
		◆ HIGH (H I)	高画質／録画時間:120GB＝168時間以上､240GB＝336時間以上
		STANDARD (STD)	標準画質／録画時間:120GB＝336時間以上､240GB＝672時間以上
(3)	音声記録	◆ 入	音声録音をおこなう。
		切	音声録音をおこなわない。
(4)	上書き記録	◆ 入	ハードディスクの容量がいっぱいになると､自動的に最初から映像を上書きする。
		切	ハードディスクの容量がいっぱいになると残量警告ランプが点灯し録画が停止する。
(5)	ディスク容量リセット	◆ いいえ	上書き設定しない｡〈ディスク容量リセット〉画面が表示され､“いいえ”が点滅する。
		はい	１回上書き状態で録画できる。〈ディスク容量リセット〉画面が表示されるので､[∨]または[∧]ボタンで“はい”を選択する。
(6)	シリーズ記録	◆ 切	シリーズ記録をおこなわない。
		-1分	複数台接続したときに､1台目のハードディスクの容量がいっぱいになる約1分前に､２台目のハードディスクが録画を開始する。
		-2分	複数台接続したときに､1台目のハードディスクの容量がいっぱいになる約2分前に､２台目のハードディスクが録画を開始する。
		-3分	複数台接続したときに､1台目のハードディスクの容量がいっぱいになる約3分前に､２台目のハードディスクが録画を開始する。
(7)	記録保存制限	◆ 切	記録したデータを自動で削除しない。
		1-99日	設定した日数が経過すると自動的に記録したデータを削除する。

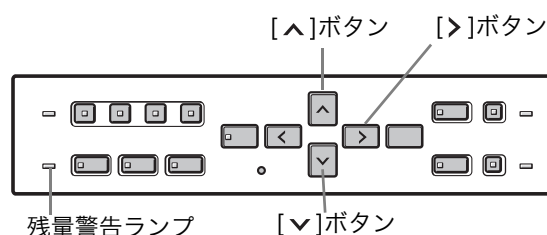
*(4) 上書き記録を“切”に設定して、ハードディスクがいっぱいになった場合は、(5)ディスク容量リセットで上書きの設定をします。設定のしかたについては、次項の「残量警告ランプが点灯したときの解除のしかた」を参照してください。

5 [∨]または[∧]ボタンで設定を変更し、[>]ボタンを押す

6 手順4、5を繰り返して他の項目を変更する

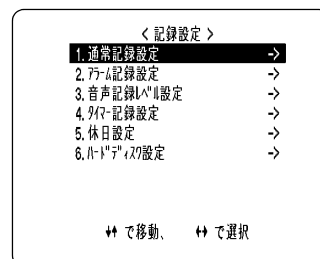
7 設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

残量警告ランプが点灯したときの解除のしかた

上書き記録を“切”に設定している場合、ハードディスクがいっぱいになると、残量警告ランプが点灯し、録画を停止します。再度録画を始めるには、以下の要領で現在の記録を消去する必要があります。

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “3.記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

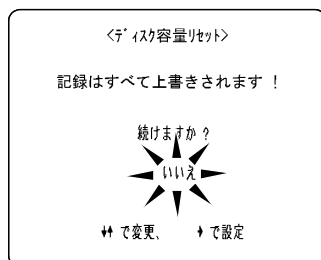
3 [>]ボタンを押す

<通常記録設定>画面が表示されます。

（次ページに続く）

設定

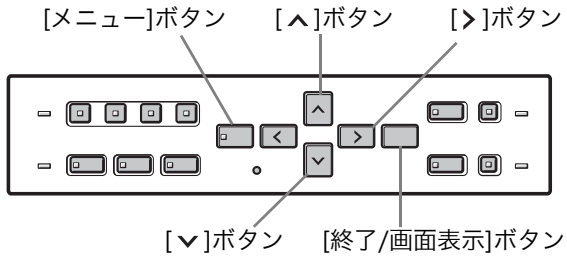
4 [∨]または[∧]ボタンで“ディスク容量リセット”を選択し、[>]ボタンを押す

〈警告〉画面が表示され、“いいえ”が点滅します。

5 [∨] または [∧] ボタンで “はい”を選択し、[>]ボタンを押す

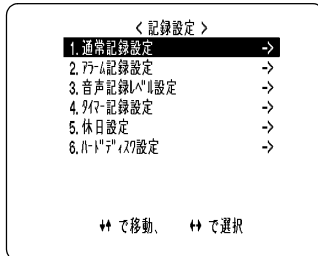
通常画面に戻り、残量警告ランプが消灯して、再度1回上書きできる状態になります。

ご注意

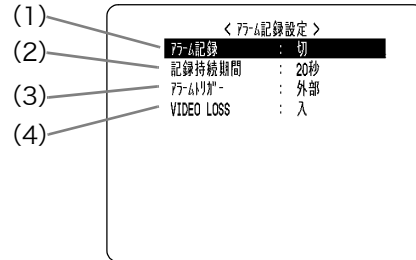
ディスク容量リセットは、上書き記録が“切”に設定されていて、ハードディスクの容量がいっぱいになったときのみ選択できます。

アラーム録画の詳細設定

1 **[メニュー]ボタンを押す**

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 **“3.記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す**

〈記録設定〉画面が表示されます。

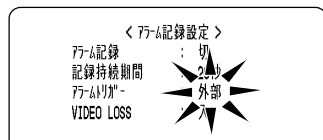
3 **[∧]または[∨]ボタンで“2.アラーム記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す**

〈アラーム記録設定〉画面が表示されます。

（次ページに続く）

設定内容（◆は初期設定値です）

	項目	設定	設定の内容
(1)	アラーム記録	◆ 切	アラーム録画をおこなわない。
		入	タイマー録画に関係なく、常時アラーム録画をおこなう。
		タイマー中アラーム	タイマー録画中のみアラーム録画をおこなう。
		タイマー外アラーム	タイマー録画中以外のときのみ、アラーム録画をおこなう。
		タイマー中アラームのみ	タイマー設定で設定した時間中のみ、アラーム録画をおこなう。 タイマー録画待機状態にはなりません。
(2)	記録持続期間	選択時間*:CC/5秒/10秒/20秒(◆)/40秒/1分/2分/3分/4分/5分/10分/15分 アラームが1回入ったときに録画する時間を設定する。	
(3)	アラームトリガー	侵入者の検出方法を選択する。	
		◆ 外部	外部アラーム（後面パネルのアラーム入力端子にスイッチを取り付け、開閉による検出）が入ったときにアラーム録画する。
		Mセンサー	モーションセンサーが動きを検出したときアラーム録画する。モーションセンサーの設定をご覧ください。(→P.31)
		外部OR Mセンサー	外部アラームかモーションセンサーのどちらかが反応するとアラーム録画する。
		外部AND Mセンサー	外部アラームとモーションセンサーの両方が同時に反応するとアラーム録画する。
(4)	VIDEO LOSS	◆ 入	カメラの映像が途切れたときに、画面に“VIDEO LOSS”を表示。 後面端子にもWARNINGを出力。
		切	カメラの映像が途切れても、画面に“VIDEO LOSS”を表示させない。

*CC：アラームが入っている間動作します。（1 アラームで 5 秒以上動作します）

4 [∨]または[∧]ボタンで設定を変更したい項目を選び、[>]ボタンを押す

設定内容が点滅します。

5 [∨] または [∧] ボタンで設定を変更し、[>]ボタンを押す

6 手順4、5を繰り返して他の項目を変更する

7 設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

録音レベルを設定する

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 "3.記録設定"を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

3 [∨]または[∧]ボタンで"3.音声記録レベル設定"を選択し、[>]ボタンを押す

〈音声記録レベル設定〉画面が表示されます。

4 チャンネルを選択して録音レベルを変更する

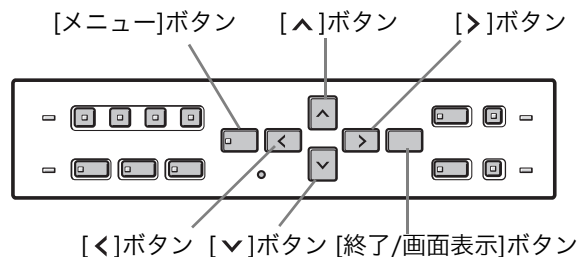
[>] ボタンを押すごとにチャンネルが切り替わります。選択されたチャンネルは、画面上の録音レベルを表すマークが点滅します。
録音レベルを上げる：[∧]ボタンを押す。
録音レベルを下げる：[∨]ボタンを押す。

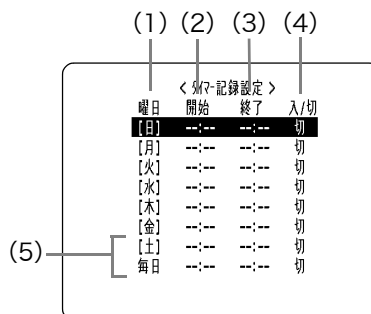
メモ

録音レベルを表すマーク（◀）の数が多いほど、高い感度を表します。

5 設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

タイマー録画の曜日、時間を設定する

タイマーの設定項目について

タイマー機能を使用して、録画の開始・終了時間を設定することができます。

曜日毎に、録画の開始・終了時間の設定ができます。

(1) 曜日：
タイマー録画をおこなう曜日を選択します。他の曜日に変更することもできます。
24 時間以上のタイマー録画の設定をおこなうときは、7行目の"[土]"と8行目の"毎日"を使用します。

(2) 開始：
タイマー録画の開始時間を入力します。

(3) 終了：
タイマー録画の終了時間を入力します。

(4) 入/切：
タイマー録画をする："入"
タイマー録画をしない："切"

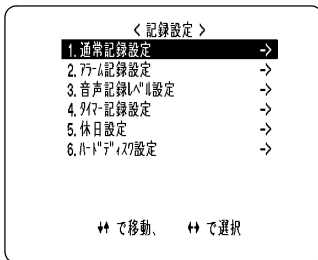
(5) [土]、毎日：
24 時間以上のタイマー録画をおこなうときに使用します。

毎日、同時間、同画質で録画する

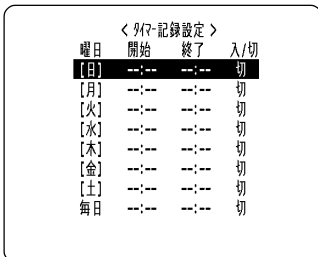
例：
毎日、午前8時30分から午後6時30分まで、同じ画質でタイマー録画をする

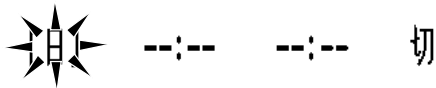
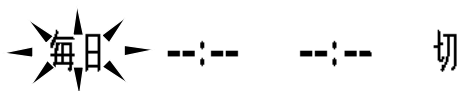
1 [メニュー]ボタンを押す

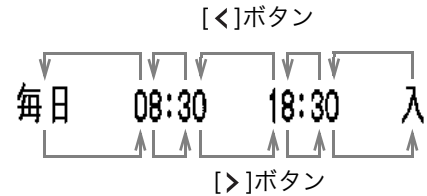
[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “3.記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

3 “4.タイマー記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈タイマー記録設定〉画面が表示されます。

4 [>]ボタンを1回押す

曜日の“[日]”が点滅します。

5 [∨]または[∧]ボタンで“[日]”を“毎日”に変更する

6 [>]ボタンでカーソルを次の表示へ移動させる

[>]ボタンを押すごとに、
曜日→開始時間（時、分）→終了時間（時、分）→入/切の順に移動します。

■ **設定を変更するときは**

[<]または[>]ボタンで変更したい項目にカーソルを移動させ、[∧]または[∨]ボタンで設定を変更します。

■ **タイマー録画の画質について**

〈通常記録設定〉の“記録画質”の設定に従って録画されます。(→P.34)

7 設定が終ったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

■ **曜日によって録画時間を変えたい場合**

各曜日の項目ごとに録画時間を設定してください。

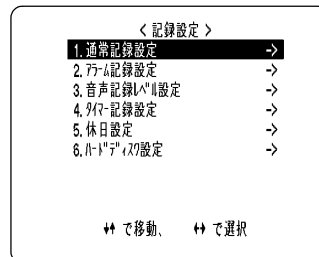
■ **タイマー予約の曜日が重なった場合**

設定した時間の早い方を優先して録画します。

設定したタイマー予約を、すべて取り消すとき

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

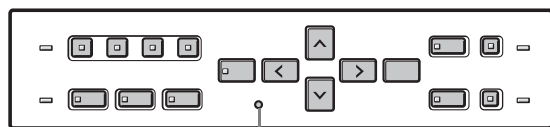
2 “3.記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

（次ページに続く）

3 “4.タイマー記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈タイマー記録設定〉画面が表示されます。

4 〈タイマー記録設定〉画面を表示している状態で、[メニューリセット]ボタンを押す

タイマー設定の内容が消去されます。

[メニューリセット]ボタン

24時間以上のタイマー予約のしかた

タイマー予約で、24時間以上の録画をしたい場合の設定方法について説明します。設定は、〈タイマー記録設定〉画面の7行目の“[土]”と8行目の“毎日”でおこないます。

例：

月曜日の午前10時30分から水曜日の午後8時30分までタイマー録画する

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “3.記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

3 “4.タイマー記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈タイマー記録設定〉画面が表示されます。

4 [v]または[^]ボタンで7行目 [土] にカーソルを移動させ、[>]ボタンを押す

曜日の“[土]”が点滅します。
点滅している箇所の設定が変更できます。

5 “曜日”と“開始”時間を設定する

(1) [v]または[^]ボタンで“[土]”を“[月]”に設定し、[>]ボタンを押す。

[月] --:-- --:-- 切

(2) [v]または[^]ボタンで“--”を“10”に設定し、[>]ボタンを押す。

[月] 10:-- --:-- 切

(3) [v]または[^]ボタンで“--”を“30”に設定し、[>]ボタンを押す。

[月] 10:30 --:-- 切

6 [v]または[^]ボタンで“終了”時間の“--:--”を“**:**”に設定し、[>] ボタンを押す。

8行目の“毎日”が自動的に7行目に設定した翌日の“[火]”に切り換わり、点滅します。設定不要箇所は＊印が表示されます。

設定

7 録画を終了させる“曜日”、“終了”時間を設定し、“入/切”を“入”に設定する

(1) [∨]または[∧]ボタンで“[火]”を“[水]“に設定し、[>]ボタンを押す。
(2) [∨]または[∧]ボタンで“--”を“20”に設定し、[>]ボタンを押す。
(3) [∨]または[∧]ボタンで“--”を“30”に設定し、[>]ボタンを押す。
(4) [∨]または[∧]ボタンで“切”を“入”に設定する。

8 [終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

特定の日を休日に設定する

特定の日を休日として設定すると、タイマー設定の日曜日と同じタイマー録画動作をします。
祝日や会社の記念日など、日曜日と同じセキュリティをおこなう場合に使用します。

ご注意

必ずタイマー設定の日曜日[日]の時間設定などをおこなってから“入/切”を“入”にしてください。(→P.37)

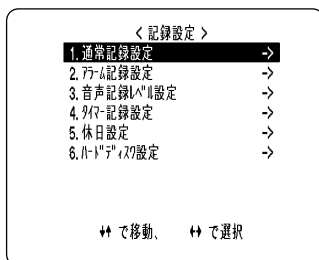
メモ

休日設定は、最大20日分までできます。

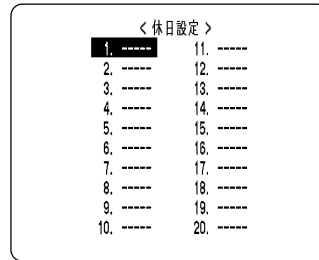
例：11月17日を休日に設定する

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “3.記録設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

3 “5.休日設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈休日設定〉画面が表示されます。

4 No.1の項目の月と日を設定する

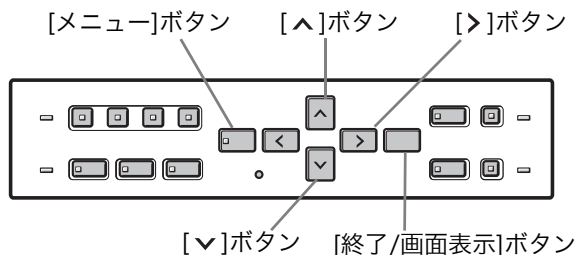
(1) [>]ボタンを押して“--”(月)を点滅させます。
(2) [∨]または[∧]ボタンで“--”を“11”に設定します。
(3) [>]ボタンを押して“--”(日)を点滅させます。
(4) [∨]または[∧]ボタンで“--”を“17”に設定します。

5 設定が終ったら[>]ボタンを押す

カーソルが“2”に移動します。

6 [終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

ハードディスクを初期化/増設する

ハードディスクを初期化する

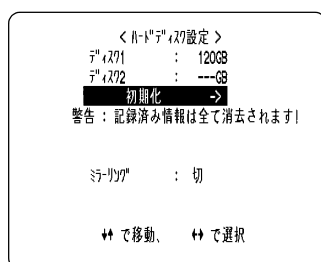
1 [メニュー]ボタンを押す

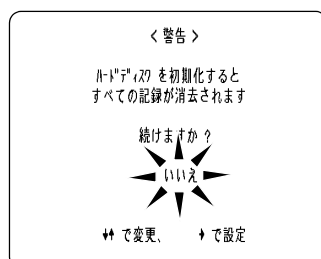
[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

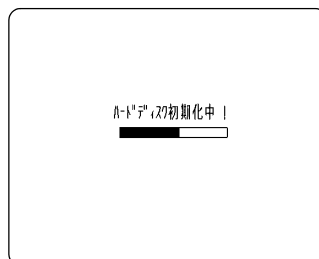
2 "3.記録設定"を選択し、[>]ボタンを押す

〈記録設定〉画面が表示されます。

3 [∨]または[∧]ボタンで"6.ハードディスク設定"を選択し、[>]ボタンを押す

〈ハードディスク設定〉画面が表示されます。

4 [>]ボタンを押す

〈警告〉画面が表示され、"いいえ"が点滅します。

5 [∨]と[∧]ボタンで"はい"を選択し、[>]ボタンを押す

"ハードディスク初期化中！"の画面になり、ハードディスクが初期化されます。
初期化が終了すると、メニュー画面に戻ります。

6 [終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面へ戻ります。

ハードディスクを増設する

ハードディスクの増設は、サービスセンターにご相談ください。増設する場合は、別売の増設用ハードディスクユニットを使用してください。

[設定条件]

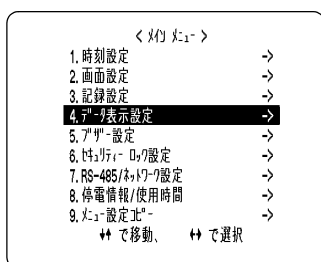
ハードディスクを増設すると、次回の起動時に、増設したハードディスクを初期化するかどうかを確認するメッセージが表示されます。"はい"を選択すると、増設したハードディスクを初期化します。"いいえ"を選択した場合、増設したハードディスクは使用できません。

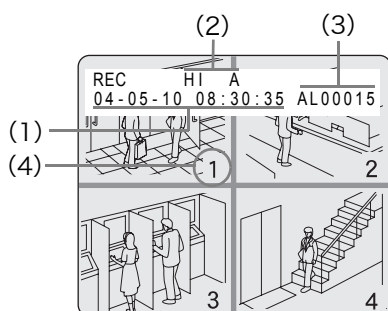
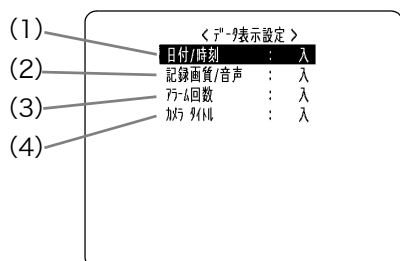
メモ

ハードディスク設定画面について

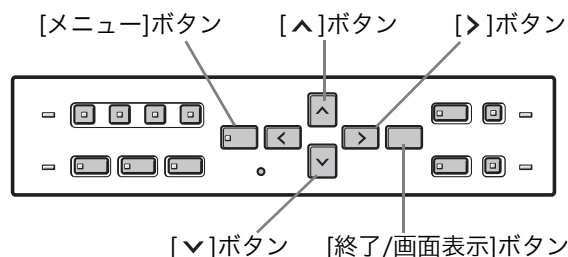
- ミラーリング
  ハードディスクを増設時に、"ミラーリング"を"入"に設定すると、同じ映像を2 台のハードディスクに録画することができます。そのため映像の書き込み不良が発生しても書き込み不良のない領域から読み出しができます。
- 再生ディスク
  ミラーリングを設定後、2 台のハードディスクのどちらから録画映像を読み出すかは自動で設定されます。

5. データ表示設定

<メインメニュー>

再生画面での操作表示部の日付・時刻などの表示を消すことができます。必要に応じて設定してください。

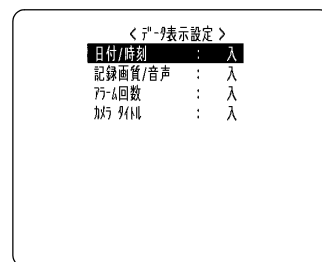
設定項目

設定内容（◆は初期設定値です）

	項目	設定	設定の内容
(1)	日付/時刻	◆入	操作表示部に日付 / 時刻を表示する。
		切	操作表示部に日付 / 時刻を表示しない。
(2)	記録画質/音声	◆入	操作表示部に画質と、音声記録の“A”を表示する。
		切	操作表示部に画質と、音声記録の“A”を表示しない。
(3)	アラーム回数	◆入	操作表示部に現在のアラーム回数を表示する。
		切	操作表示部に現在のアラーム回数を表示しない。
(4)	カメラタイトル	◆入	画面上にカメラタイトルを表示する。
		切	画面上にカメラタイトルを表示しない。

操作表示部の表示をカスタマイズする

1 **[メニュー]ボタンを押す**

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 **“4.データ表示設定”を選択し、[>]ボタンを押す**

〈データ表示設定〉画面が表示されます。

3 **[∨]と[∧]ボタンで設定を変更したい項目を選び、[>]ボタンを押す**

設定内容が点滅します。

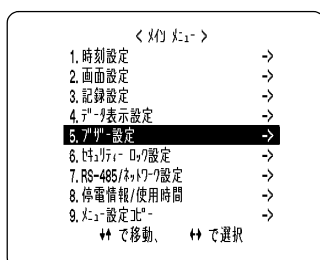
4 **[∨]と[∧]ボタンで設定を変更し、[>]ボタンを押す**

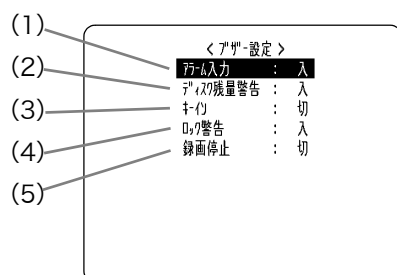
5 **手順3、4を繰り返して他の項目を変更する**

6 **設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す**

通常の画面に戻ります。

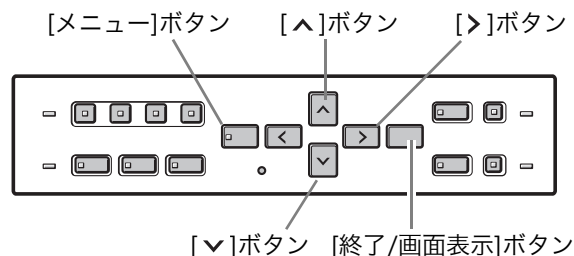
6. ブザー設定

〈メインメニュー〉

アラーム時やハードディスクの容量がゼロになったとき、警告をブザーで知らせることができます。必要に応じて設定してください。

設定項目

設定内容（◆は初期設定値です）

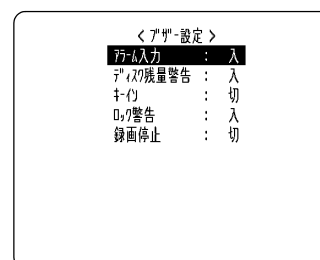
	項目	設定	設定の内容
(1)	アラーム入力	◆入	アラーム時にブザーが鳴ります。
		切	アラームが入ってもブザーを鳴らさない。
(2)	ディスク残量警告	◆入	上書きをしない設定の場合に、ハードディスクの残量がゼロになると、ブザーを鳴らす。
		切	上書きをしない設定の場合に、ハードディスクの残量がゼロになってもブザーを鳴らさない。
(3)	キーイン	入	操作ボタンを押すとブザーを鳴らす。
		◆切	操作ボタンを押してもブザーを鳴らさない。
(4)	ロック警告	◆入	以下の場合にブザーを鳴らす。 ● ハードディスクの異常 ● ファンの異常 ● 録画の異常
		切	以下の場合もブザーを鳴らさない。 ● ハードディスクの異常 ● ファンの異常 ● 録画の異常
(5)	録画停止	入	一度記録を開始した後の記録停止でブザーを鳴らす。
		◆切	一度記録を開始した後の記録停止でブザーを鳴らさない。

ブザー音を停止する場合は、いずれかの操作ボタンを押してください。ブザー音が止まります。

ブザーを鳴らす/鳴らさないを状況ごとに設定する

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “5. ブザー設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈ブザー設定〉画面が表示されます。

3 [∨]と[∧]ボタンで設定を変更したい項目を選び、[>]ボタンを押す

設定内容が点滅します。

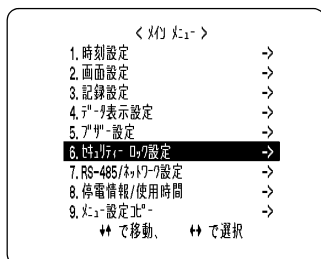
4 [∨]と[∧]ボタンで設定を変更し、[>]ボタンを押す

5 手順3、4を繰り返して他の項目を変更する

6 設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

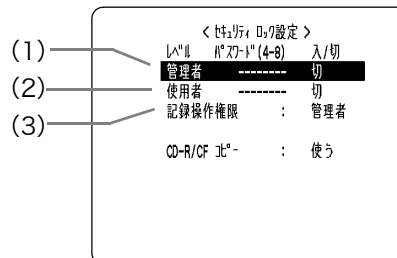
7. セキュリティロック設定

<メインメニュー>

パスワードを設定すると、管理者・使用者以外での操作を限定したり、操作できないようにすることができます。セキュリティロック設定後は、設定者以外が本機の操作ボタンに触れるとブザーが鳴ります。設定したパスワードは必ず控えておいてください。

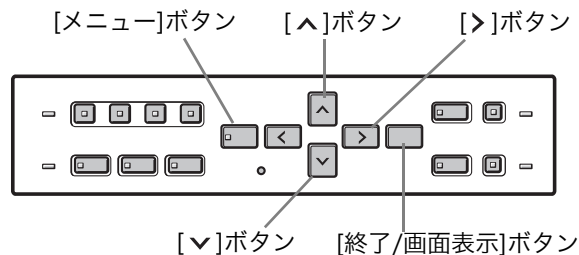
パスワードの設定例

パスワードは、管理者用と使用者用の２種類の設定ができます。以下にパスワード設定後の動作例を説明します。

設定例	操作内容
レベルパスワード(4-8) 入 管理者123456AB 入 使用者AB123456 入 記録操作権限: 管理者	パスワードを入力しないと、すべての操作がロック状態となります。
	使用者パスワードを入力すると、再生に関連する操作だけ使用できます。
	管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
管理者123456AB 入 使用者AB123456 入 記録操作権限: 使用者	パスワードを入力しないと、すべての操作がロック状態となります。
	使用者パスワードを入力すると、再生と録画に関連する操作だけ使用できます。
	管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
管理者123456AB 入 使用者-------- 切 記録操作権限: 管理者	パスワードを入力しないと、再生に関する操作だけしか使用できません。
	管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
管理者123456AB 入 使用者-------- 切 記録操作権限: 使用者	パスワードを入力しないと、再生と録画に関する操作だけしか使用できません。
	管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
管理者-------- 切 使用者-------- 切 記録操作権限: 管理者	すべての操作が使用できます。また、キーロック機能として動作します。(➔P.22)
管理者 --------切 使用者 --------切 記録操作権限: 使用者	すべての操作が使用できます。また、キーロック機能として動作します。(➔P.22)

設定項目

設定内容（◆は初期設定値です）

	項目	設定	設定の内容
(1)	管理者	入	管理者用のパスワードを設定する。 また、パスワードの設定を有効にする。
		◆ 切	パスワードの設定を無効にする。
(2)	使用者	入	使用者用のパスワードを設定する。 また、パスワードの設定を有効にする。
		◆ 切	パスワードの設定を無効にする。
(3)	記録操作権限	◆ 管理者	記録操作権限を“管理者”に設定する。
		使用者	記録操作権限を“使用者”に設定する。
(4)	CD-R/CF コピー	◆ 使う	CD-R/RW, CFへのコピー機能を使う。
		使わない	CD-R/RW, CF へのコピー機能を使わない。

管理者パスワードを設定する

パスワードは４桁から８桁の数字とアルファベットの組み合わせで設定できます。
パスワードに入力できる記号：0〜9、A〜Z

例：パスワードを“123456AB”に設定する

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “6. セキュリティロック設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈セキュリティロック設定〉画面が表示されます。

画面上の“レベルパスワード (4-8) 入/切”はタイトルです。ここへはカーソルを移動できません。

（次ページに続く）

3 **[>]ボタンを押す**

パスワード入力の最初の“-”が点滅します。

管理者 -------- 切

4 **[∨]と[∧]ボタンで記号を選択する**

例：
“1”を表示します。

5 **[>]ボタンを押す**

パスワード入力の2番目の“-”が点滅します。

管理者 -------- 切

6 **手順4、5を繰り返して“23456AB”を設定する**

管理者 123456AB 切

メモ

- **4桁のパスワードを設定する場合**
  5桁目に“–”を表示した状態で[>]ボタンを押してください。

7 **設定が終ったら[>]ボタンを押す**

カーソルが“切”（点滅）に移動します。

8 **[∨]と[∧]ボタンで“入”を選択する**

管理者 123456AB 入

ご注意

“管理者”の設定が“切”の場合は“使用者”のパスワード設定はできません。

9 **設定が終ったら[>]ボタンを押す**

カーソルが“使用者”に移動します。
使用者設定をおこなわない場合はこれで終了です。
[∨]と[∧]ボタンでカーソルを“記録操作権限”に移動させて“録画・再生操作をするためのパスワードを設定する”をおこなってください。（→P.46）

使用者パスワードを設定する

例：パスワードを“AB123456”に設定する

P.44の手順1、2の操作をおこなってください。

3 **[∨]と[∧]ボタンでカーソルを“使用者”に移動する**

4 **[>]ボタンを押す**

パスワード入力の最初の“-”が点滅します。
例：A
[∨]と[∧]ボタンで“A”を表示します。

使用者 A------- 切

5 **[>]ボタンを押す**

パスワード入力の2番目の“-”が点滅します。
[∨]と[∧]ボタンで“B”を表示します。

以降「管理者パスワードを設定する」と同じ操作を繰り返して“123456”の設定をおこなってください。

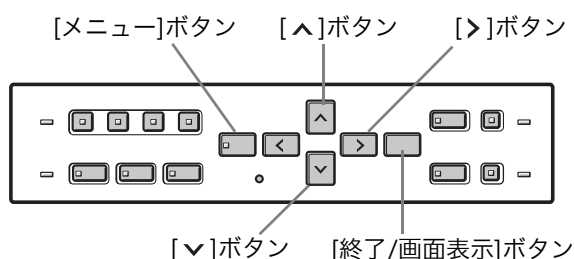
6 **設定が終ったら[>]ボタンを押す**

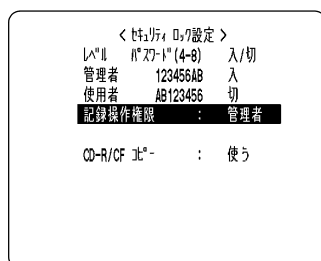
カーソルが“切”（点滅）に移動します。

使用者 AB123456 切

7 **[∨]と[∧]ボタンで“入”に設定し、[>]ボタンを押す**

カーソルが“記録操作権限”に移動します。

録画･再生操作をするためのパスワードを設定する

P.44の手順1、2の操作をおこなってください。

3 [∨]と[∧]ボタンでカーソルを“記録操作権限”に移動する

4 [>]ボタンを押す

5 [∨]と[∧]ボタンで“管理者”または“使用者”を選択する

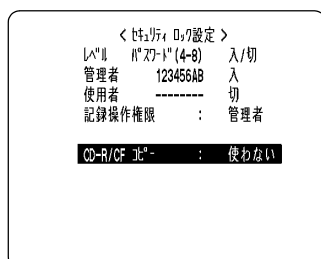
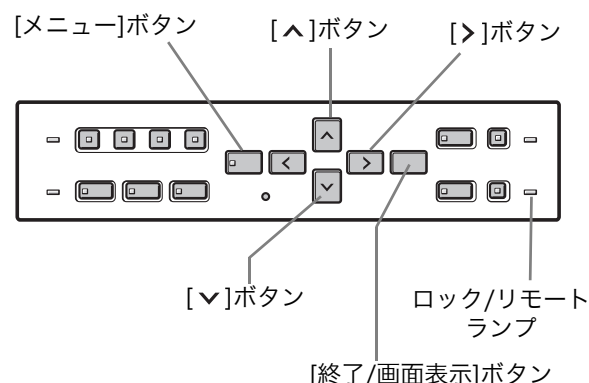
これで設定は終了です。

6 [終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

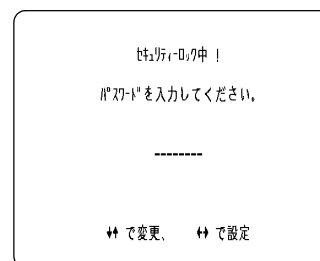
CD-R/RW、CFへのコピーを防止するための設定

以下のように設定すると、管理者以外がCD-R/RW、CFに画像をコピーすることを防止できます。

- 管理者パスワードを設定する
- CD-R/CFコピーを“使わない”に設定する
- セキュリティロックをかける

セキュリティロックをかける

1 通常の監視画面で、[∨]ボタンを約3秒間押す

ピピピッという確認音が鳴って、ロック/リモートランプが点灯し、セキュリティロックが設定されます。

2 セキュリティロックの確認は、いずれかのボタンを押す

パスワード入力画面が約５秒間表示されます。

3 パスワード入力画面が表示されている間にパスワードを入力する

[∨]、[∧]および[>]ボタンで入力してください。

ご注意

管理者または使用者のパスワード設定で入力した、パスワード（例：123456AB）を入力してください。

123456AB

4 [>]ボタンを押す

これで設定は終了です。
ロック / リモートランプが消えて通常の画面に戻ります。

設定

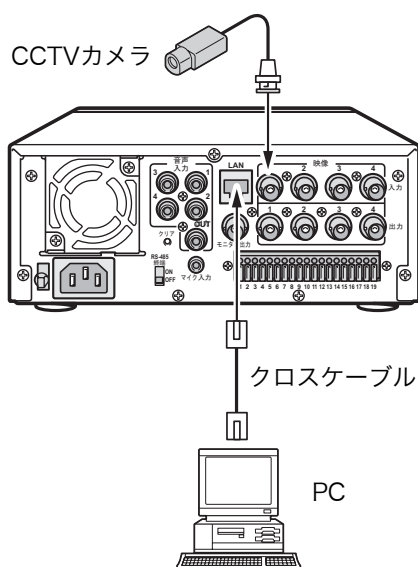
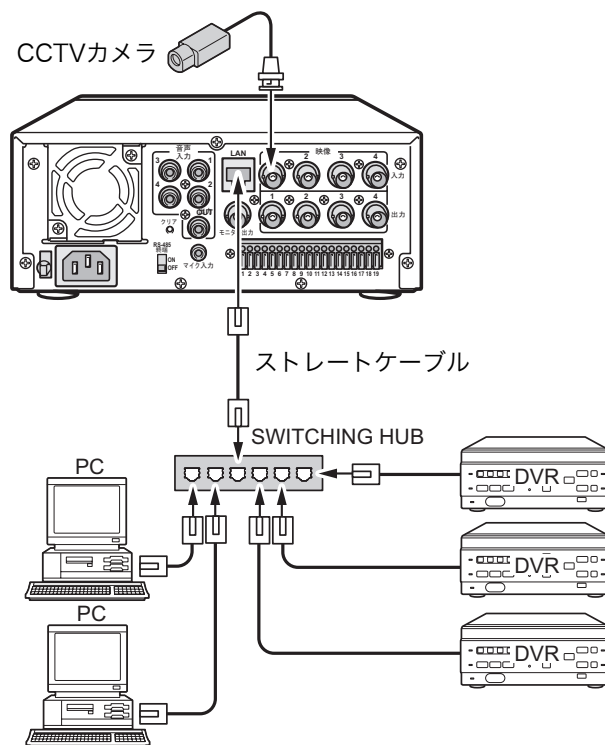
8. RS-485/ネットワーク設定

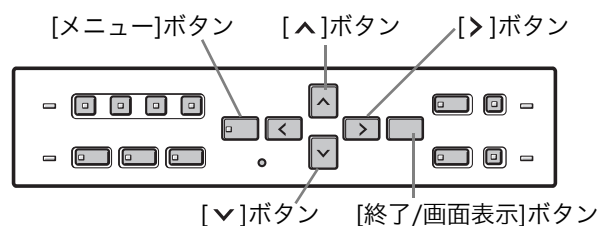
外部機器と接続するための RS-485 端子の接続・設定方法と、コンピューターと接続するためのネットワークの接続方法について説明します。

ネットワークの接続例と設定

本機のメニュー設定や映像の監視をネットワーク (LAN) 経由でコンピューターから操作できます。本機後面のLAN端子にEthernetケーブルを接続してください。

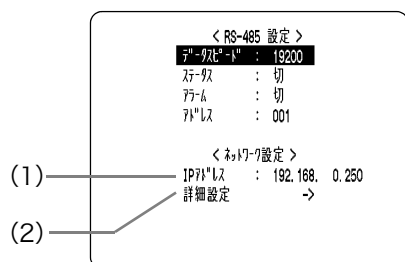
※ VA-SW81LITE Ver.2または、VA-SW814 Ver.2 (別売) をコンピューターにインストールする必要があります。

● コンピューターに直接接続するとき
(Ethernetハブを使用しない)

● イントラネットに接続するとき
(Ethernetハブを使用する)

コンピューターまたはネットワークへ接続するための設定

IPアドレスの設定について説明します。
IP アドレスは、初期設定ではコンピューター側から自動で設定されます。
手動で設定する場合は、以下の方法でおこなってください。

1 [メニュー]ボタンを押す

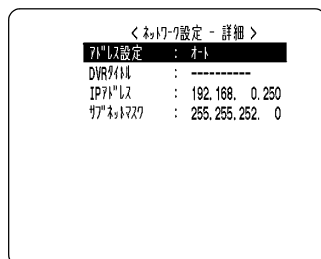
[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

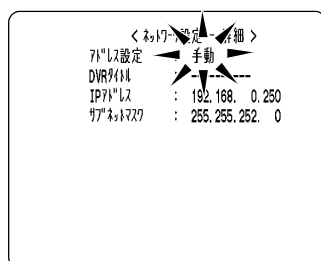
2 “7.RS-485/ネットワーク設定”を選択し、[>]ボタンを押す

〈ネットワーク設定〉画面が表示されます。

設定内容

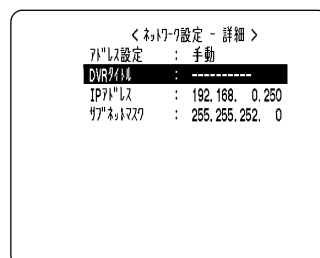
	項目	設定の内容
(1)	IPアドレス	設定されている IP アドレスが表示されます。
(2)	詳細設定	IP アドレスを本機側で設定するか、コンピューター側で設定するかを設定します。

3 [∧] と [∨] ボタンで“詳細設定”を選択し、[>] ボタンを押す

〈ネットワーク設定ー詳細〉画面が表示されます。

4 [>] ボタンを押す

5 [∧] と [∨] ボタンで“手動”を選択する

設定内容（◆は初期設定値です）

設定	設定の内容
◆オート	遠隔操作ソフト、VA-SW814/VA-SW81LITE 使用時に、本体の [一時停止] ボタンを押すと、IPアドレスが自動設定されます。
手動	“DVR タイトル”、“IP アドレス”、“サブネットマスク”を本機側で設定します。

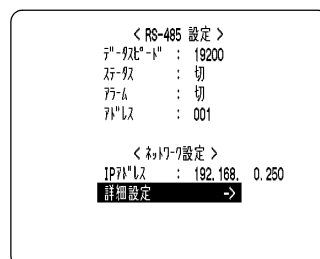
6 [∧] と [∨] ボタンで“DVRタイトル”、“IP アドレス”、“サブネットマスク”を設定する

7 [終了/画面表示]ボタンを押す

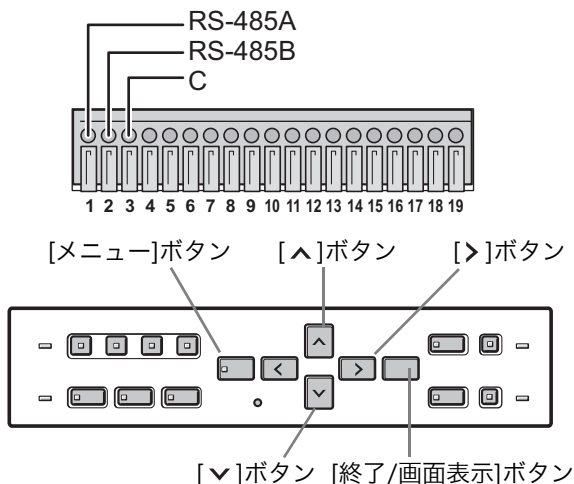
通常の画面に戻ります。

本機側で IP アドレスを変更した場合は、〈RS-485/ネットワーク設定〉画面から抜けた時点で新しい IP アドレスが有効になります。

ご注意

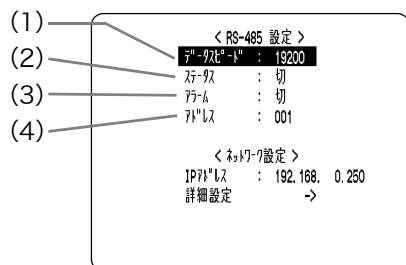
本機をネットワークに接続する場合は、IP アドレスをネットワーク管理者にご確認ください。

設定した IP アドレスは、〈RS-485/ ネットワーク設定〉画面に表示されます。

RS-485を使用する場合の接続と設定

本機のコントロール端子のRS-485（A、B）とシステムコントローラー、デジタルビデオレコーダーなどを接続してください。

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 "7.RS-485/ネットワーク設定" を選択し、[>]ボタンを押す

〈RS-485設定〉画面が表示されます。

設定内容（◆は初期設定値です）

	項目	設定	設定の内容
(1)	データスピード	2400 4800 9600 ◆ 19200	通信速度を選択します。
(2)	ステータス	入	ステータス情報をRS-485ラインで送信できます。
		◆ 切	設定しません。
(3)	アラーム	入	アラーム情報をRS-485ラインで送信できます。
		◆ 切	設定しません。
(4)	アドレス	000〜127 (◆001)	複数のレコーダーを接続する場合は、それぞれ異なるアドレス番号を設定します。

3 [∨]と[∧]ボタンで設定を変更したい項目を選び、[>]ボタンを押す

4 [∨]と[∧]ボタンで設定を変更し、[>]ボタンを押す

5 手順3、4を繰り返して他の項目を変更する

6 設定が終わったら[終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

9. 停電情報/使用時間

<メインメニュー>

停電の日時やハードディスクの使用時間などを確認することができます。

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “8.停電情報/使用時間”を選択し、[ ]ボタンを押す

〈停電情報/使用時間〉画面が表示されます。

(1) 発生日時/復旧日時：
停電の発生日時/復旧日時を最新のものから4件分表示します。
左端には停電回数を表示します。
（例：010 回）“999”を越えると“000”となります。

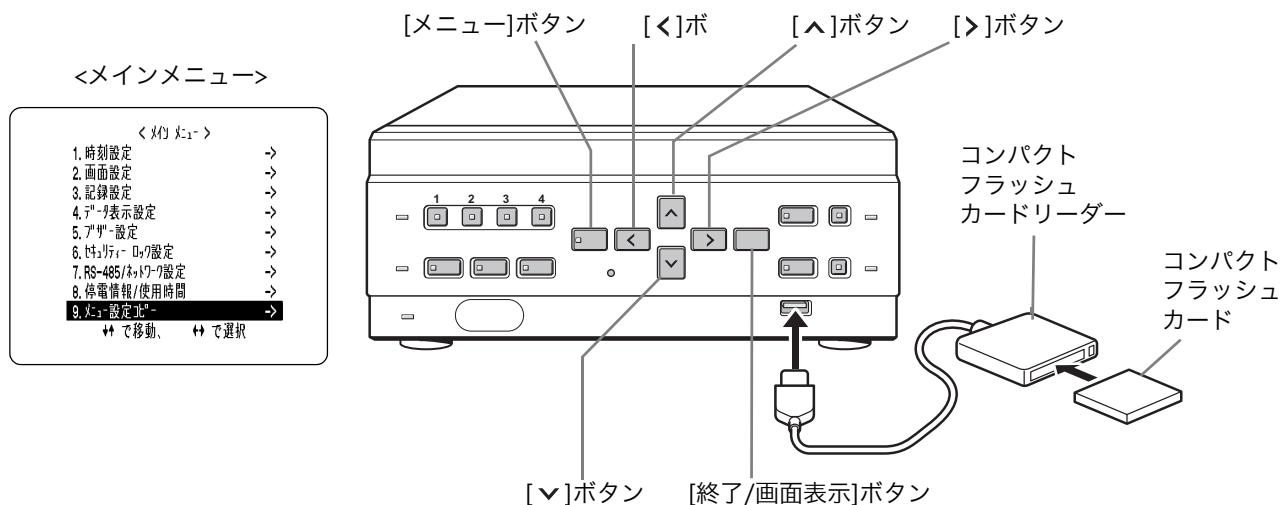
(2) ディスク1：
ハードディスク1の総使用時間を表示します。

(3) ディスク2：
ハードディスク2（増設時）の総使用時間を表示します。

(4) 通電時間：
本機の総通電時間を表示します。

3 [終了/画面表示]ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

10. メニュー設定コピー

設定をコンパクトフラッシュカードに保存することができます。また、コンパクトフラッシュカードに保存した設定を本体に読み込むこともできます。

ご注意

- セーブおよびロード中は、電源を切らないでください。
- コンパクトフラッシュカードリーダーを USB 端子に接続してご使用になる場合は、コンパクトフラッシュカードリーダーのランプが点灯していることを確認してください。ランプ点灯前に実行すると、セーブやロードができない場合があります。
- コンパクトフラッシュカードに設定を保存し、続けて設定の保存を実行した場合、セーブできない場合があります。この場合はコンパクトフラッシュカードを抜き、再度挿入してからセーブしてください。

メモ

- コンパクトフラッシュカードの空き容量は 4KB 必要です。
- コンパクトフラッシュカードリーダーの推奨品は、弊社ホームページ http://www.sanyo-cctv.net をご覧ください。

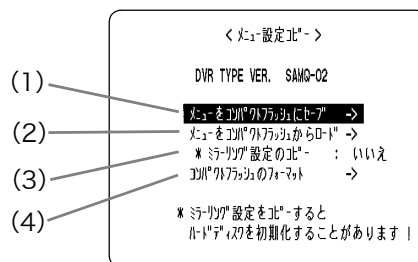
設定のしかた

市販のコンパクトフラッシュカードリーダーとコンパクトフラッシュカードを準備してください。

1 [メニュー]ボタンを押す

[メニュー]ボタンが点灯し、〈メインメニュー〉画面が表示されます。

2 “9.メニュー設定コピー” を選択し、[>]ボタンを押す

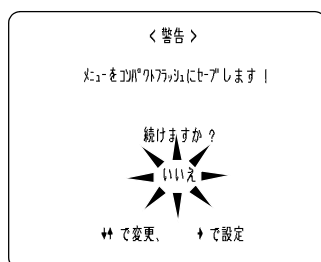
〈メニュー設定コピー〉画面が表示されます。

	項目	設定の内容
(1)	メニューをコンパクトフラッシュにセーブ	設定をコンパクトフラッシュカードに保存する。
(2)	メニューをコンパクトフラッシュからロード	コンパクトフラッシュカードに保存した設定を呼び出す。
(3)	ミラーリング設定のコピー	“メニューをコンパクトフラッシュからロード”を選択したときにコンパクトフラッシュカードに保存されているミラーリング(入/切)設定値を反映する/しないの設定。
(4)	コンパクトフラッシュのフォーマット	コンパクトフラッシュカードを初期化する。

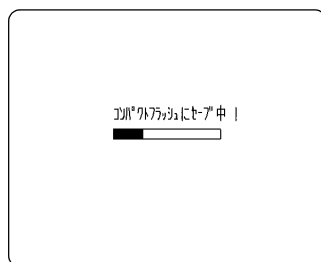
ご注意

“ミラーリング設定のコピー”を“はい”にした場合、ハードディスクが初期化されることがあります。ハードディスクを初期化させたくない場合、“いいえ”を選択してください。

設定を保存する

1 [∨]と[∧]ボタンで“メニューをコンパクトフラッシュにセーブ”を選択して[>]ボタンを押す

〈警告〉画面が表示されます。
“いいえ”が点滅します。

2 [∨]と[∧]ボタンで“はい”を選択し、[>]ボタンを押す

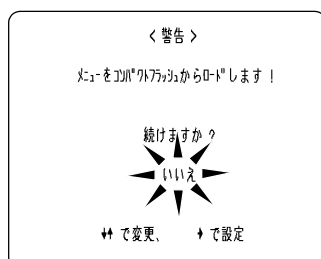
保存を開始します。

保存が終了すると、〈メニュー設定コピー〉画面に戻ります。

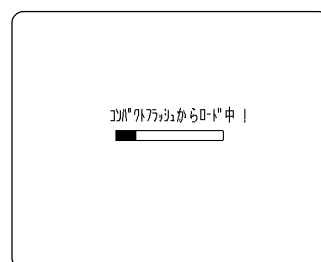
メモ

コンパクトフラッシュカードには、“M814MENU.txt”というファイル名が作成されます。

設定を読み込む

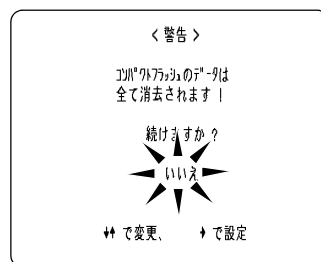
1 [∨]と[∧]ボタンで“メニューをコンパクトフラッシュからロード”を選択し、[>]ボタンを押す

〈警告〉画面が表示されます。
“いいえ”が点滅します。

2 [∨]と[∧]ボタンで“はい”を選択し、[>]ボタンを押す

読み込みを開始します。

読み込みが終了すると、〈メニュー設定コピー〉画面に戻ります。

コンパクトフラッシュカードをフォーマットする

1 [∨]と[∧]ボタンで“コンパクトフラッシュのフォーマット”を選択し、[>]ボタンを押す

〈警告〉画面が表示されます。
“いいえ”が点滅します。

2 [∨]と[∧]ボタンで“はい”を選択し、[>]ボタンを押す

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを開始します。

フォーマットが終了すると、〈メニュー設定コピー〉画面に戻ります。

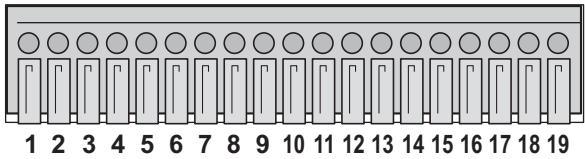
ご注意

フォーマットをすると、コンパクトフラッシュカードに保存されている内容は、すべて消去されます。フォーマットさせたくない場合、“いいえ”を選択してください。

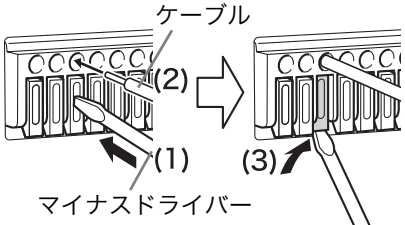
終了する

[終了/画面表示]ボタンを押す

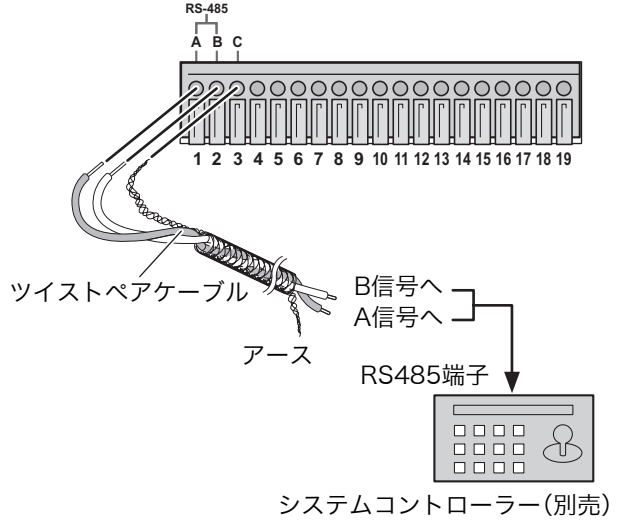
通常の画面に戻ります。

1. コントロール端子仕様

端子No.	名称	信号	機能
1	RS-485A	RS-485	RS-485 用端子　A 信号へ*1
2	RS-485B	RS-485	RS-485 用端子　B 信号へ*1
3	アース		コモン
4	リモコン入力	抵抗ラダー接続	リモートコントロール用端子
5	アース		コモン
6	時計合わせ入力	通常オープン、アクティブ時Low	時計合わせ用入力
7	時計合わせ出力	通常DC5V/57kΩ, アクティブ時Low	時計合わせ用出力
8	アース		コモン
9	シリーズ録画入力	通常オープン、アクティブ時Low	本機を複数台接続して録画するときの入力端子
10	録画停止出力 / シリーズ録画出力	通常DC5V/57kΩ, アクティブ時Low	本機を複数台接続して録画するときの出力端子*2
11	アラーム入力 1	通常オープン、アクティブ時Low	1CH用アラーム入力
12	アラーム入力 2	通常オープン、アクティブ時Low	2CH用アラーム入力
13	アラーム入力 3	通常オープン、アクティブ時Low	3CH用アラーム入力
14	アラーム入力 4	通常オープン、アクティブ時Low	4CH用アラーム入力
15	アラームリセット	通常オープン、アクティブ時Low	アラームリセット入力
16	アラーム出力	通常DC5V/57kΩ, アクティブ時Low	アラーム出力
17	アース		コモン
18	警告出力	オープンコレクタ (500mA), アクティブ時Low	警告出力*3
19	残量警告出力	オープンコレクタ (50mA), アクティブ時Low	記憶容量残量警告

*1 ツイストペアケーブルの接続に使用します。
*2 シリーズ録画出力は、"通常記録設定"（➔P.33）の上書き記録が"切"で、さらにシリーズ記録が"－１分～－３分"のときに出力します。シリーズ記録が"切"のときは録画停止出力を出力します。
*3 警告出力には、以下の種類があります。
- HDDの異常　●FANの異常　●録画の異常
- VIDEO LOSSが入で、入力信号が無いとき

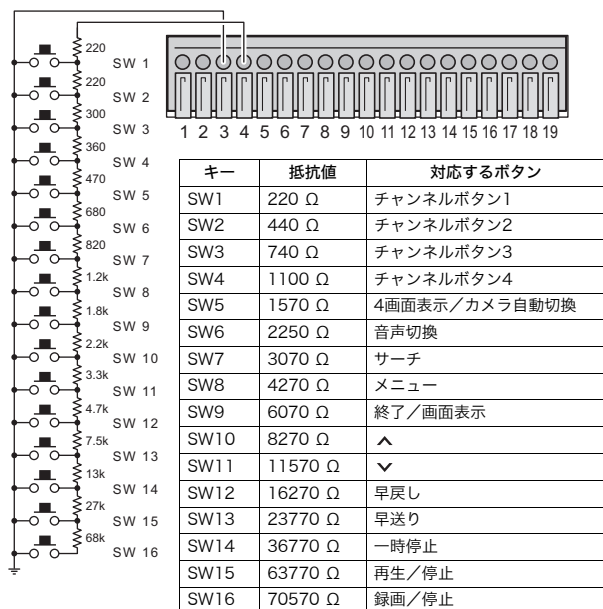
コントロール端子への、ケーブルの接続のしかた

(1) マイナスドライバーでロックピンを押し込みます。
(2) ケーブルを差し込みます。
(3) マイナスドライバーでロックピンを引き戻します。ケーブルは固定されます。

システムコントローラーの接続

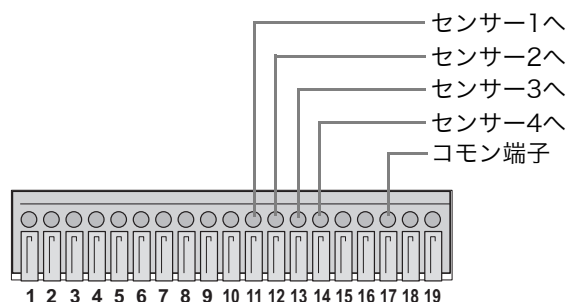
システムコントローラーを使用するときの接続です。
ツイストペアケーブル（別売）で後面のコントロール端子の RS-485A、RS-485B、アースに接続します。システムコントローラーのA信号をRS-485A、B信号をRS-485Bに接続します。

- **ツイストペアケーブル**
  他のケーブルから発せられるノイズによる、信号への干渉を軽減できるケーブルです。
- システムコントローラーについては、お買い上げ販売店にご確認ください。

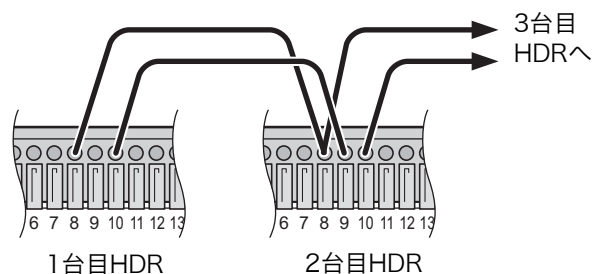
リモートコントローラーの接続

本機をリモートコントロールするためのリモートコントローラーの回路を以下に示します。リモートコントローラーはコントロール端子のリモコン入力とアースに接続します。

キー	抵抗値	対応するボタン
SW1	220 Ω	チャンネルボタン1
SW2	440 Ω	チャンネルボタン2
SW3	740 Ω	チャンネルボタン3
SW4	1100 Ω	チャンネルボタン4
SW5	1570 Ω	4画面表示／カメラ自動切換
SW6	2250 Ω	音声切換
SW7	3070 Ω	サーチ
SW8	4270 Ω	メニュー
SW9	6070 Ω	終了／画面表示
SW10	8270 Ω	∧
SW11	11570 Ω	∨
SW12	16270 Ω	早戻し
SW13	23770 Ω	早送り
SW14	36770 Ω	一時停止
SW15	63770 Ω	再生／停止
SW16	70570 Ω	録画／停止

1/10W以上の抵抗でDランク（±0.5%以上の精度）のものを使用してください。
SW16の操作は本体の録画／停止ボタンと同じです。非録画時にスイッチがオンになると録画が始まり、録画時に2秒以上スイッチがオン状態に保たれると録画が終了します。

アラームセンサーの接続

アラームセンサーはコントロール端子のアラーム入力1からアラーム入力4とアースに接続します。

シリーズ記録のための接続

図のようにコントロール端子間をケーブルで接続してください。

端子No.
8 : アース
9 : シリーズ録画入力
10 : 録画停止出力/シリーズ録画出力

付録

2. RS-485仕様

データ形式

モード	非同期
キャラクター長	8ビット
データ転送速度	2400、4800、9600、19200bps
パリティチェック	なし
ストップビット	1ビット

通信プロトコル

当社独自のプロトコル（SSP：Security Serial Protocol）を使用しています。専用コントローラを使用し操作することをお勧めします。専用コントローラについては、販売店またはサービスセンターにご相談ください。

RS-485終端スイッチの設定

終端を設定する

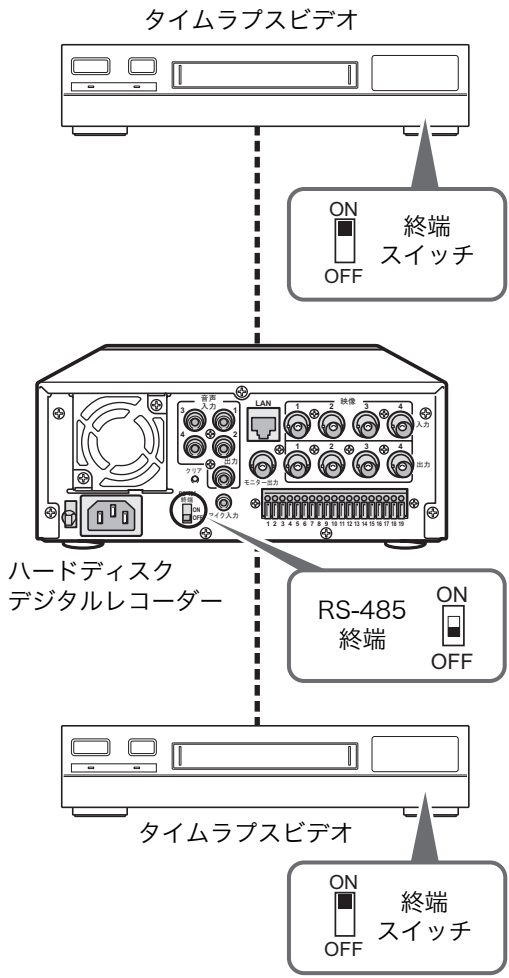
複数台の機器を接続した場合、両端の機器には終端設定が必要です。

- RS-485終端スイッチをONに設定して、最終端の機器の終端スイッチをONにしてください。
- 両端（始めの機器と終わりの機器）以外の機器は、必ずOFFにしてください。

ご注意

終端設定をおこなわないと、データがひずんで他のデータに影響を与え、各機器に正しいデータが伝わりません。

例

付録

3. インターフェイス仕様

DVRまたはVTR用コマンドテーブル

本機を介して使用できるコマンドは下表のとおりです。

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0							TIMER ON/OFF	
1								
2			AUDIO					
3						SHIFT←	SHIFT→	
4						SHIFT↑	SHIFT↓	MENU
5							SHIFT+ /RP UP	
6							SHIFT- /RP DOWN	
7								
8								
9							SECURITY LOCK ON	
A				PLAY	REV PLAY /SEARCH (DVR)		SECURITY LOCK OFF	
B								
C							GROUP SET	
D							GROUP CHECK	
E							GROUP CLEAR	
F				STOP	STILL			

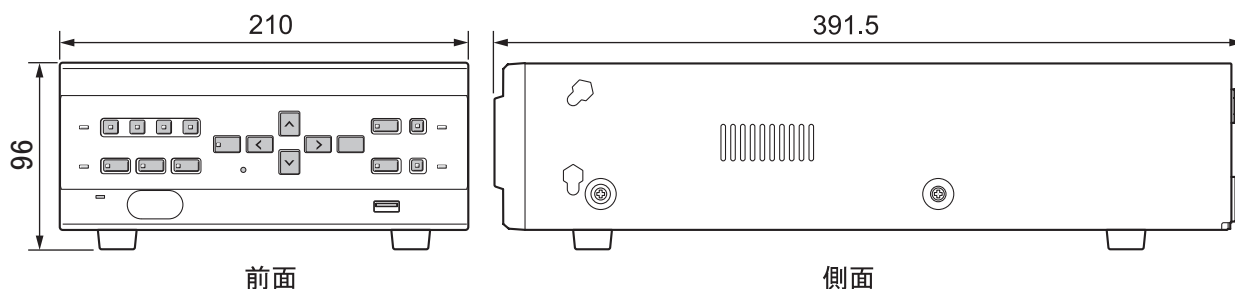
下位＼上位	8	9	A	B	C	D	E	F
0		CAMERA 1					CLOCK ADJUST	
1		CAMERA 2					MENU RESET	
2		CAMERA 3						
3	QUAD	CAMERA 4						
4								
5								
6								
7	SEQUENCE					STATUS SENSE		
8								
9							CLOCK DOWNLOAD	
A					REC			REC/DUB REQUEST
B			FF					
C			REW					
D								
E	OSD/EXIT							
F				STATUS LOG1	REC STOP			

4. 本体仕様

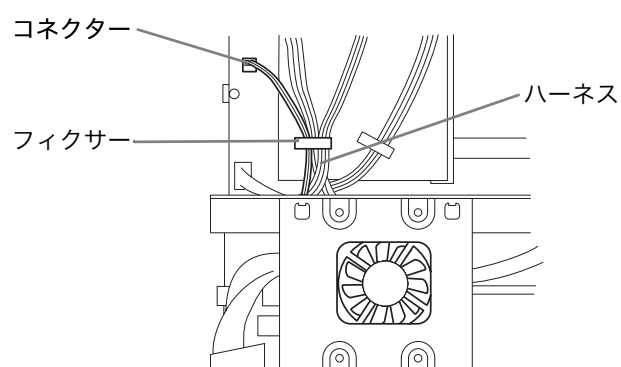
項目		仕様
ハードディスク容量		120GB(標準)、最大300GB×2
信号方式		カラーテレビジョン方式準拠
解像度		720×480ピクセル(Super+/Super/High/Standard)
圧縮方式	ビデオ	MPEG 2
	音声	MPEG 1Audio Layer 2
記録画質		4レベル[Super+/Super/High/Standard]
記録タイプ		フレーム記録方式
記録スピード		30フレーム/秒
画面表示		1画面/4分割画面
再生		再生、一時停止、サーチ、早送り、巻戻し、スロー再生/逆再生、コマ送り/戻し
録画	通常録画	4分割画面で録画
	タイマー録画	4分割画面で録画
	アラーム録画	4分割画面で録画
サーチモード	日付/時刻サーチ	日付と時刻からサーチ
	アラームサーチ	アラームリストからサーチ
時刻設定		年/月/日/時/分/秒
その他の機能		モーションセンサー、セキュリティロック(パスワード設定可能)
ビデオ入力		1V(p-p)、75Ω不平衡、BNC接栓 ×4
ビデオ出力		1V(p-p)、75Ω不平衡、BNC接栓 ×4
ビデオモニター出力		1V(p-p)、75Ω不平衡、BNC接栓 ×1
音声入力		-8dBs、27kΩ不平衡(RCAピンジャック×4)
音声出力		-8dBs、600Ω不平衡(RCAピンジャック×1)
マイク入力		-60dBs、10kΩ不平衡(3.5mmモノラルジャック)
LAN端子		100BASE-TX(RJ-45)
USB端子		外部記憶装置(CFカードリーダー、CD-R/RWドライブ)用
コントロール端子(プッシュロック)	RS-485端子	3端子(A、B、GND)
	リモートコントロール端子	抵抗ラダー
	時計合わせ入力端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ
	時計合わせ出力端子	通常5V、Lowレベルアクティブ
	シリーズ録画入力端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ
	無録画出力/シリーズ録画出力端子	通常5V、Lowレベルアクティブ
	アラーム入力端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ(4ch分)
	アラームリセット端子	通常オープン、Lowレベルアクティブ
	アラーム出力端子	通常5V、Lowレベルアクティブ
	異常警告出力端子	オープンコレクタ(500mA)、Lowレベルアクティブ
	残量警告出力端子	オープンコレクタ(50mA)、Lowレベルアクティブ
電源		AC100V、50/60Hz
消費電力		31W
使用可能温度		5℃～40℃
使用可能湿度		10%～80%
外形寸法		210×96×391.5mm
質量		3.7kg

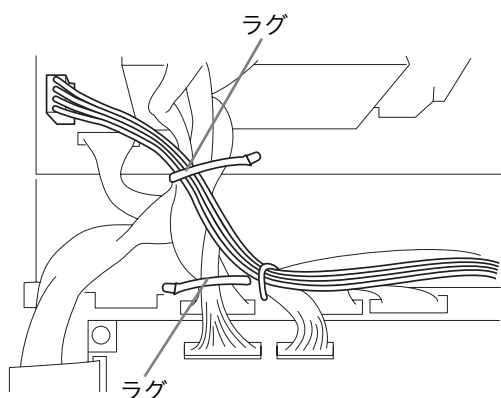
外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

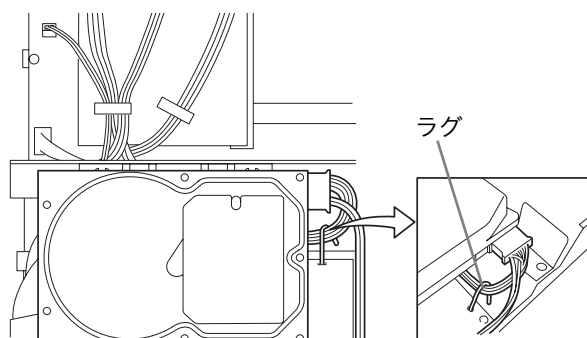
寸法図

単位：mm

ハードディスクを増設するときのご注意

本機のハードディスク増設用スペースの下にはファンがあります。
ハードディスクを増設する場合は、ハーネスがファンに巻き込まれないように以下のようにおこなってください。

取り付け前

ファンのコネクターを抜き、フィクサーからファンのハーネスをはずす。

取り付け時

2 台目のハードディスクにハーネスをつないだあと、各ハーネス類を固定し、しっかり押さえつける。

取り付け後

ハードディスクを取り付けたら、ハードディスクの電源ハーネスをラグで固定し、ファンのハーネス、コネクターを元に戻す。

修理相談窓口

三洋コンシューママーケティング株式会社
受付時間　月曜日～金曜日　9:00～18:30
　　　　　土曜日・日曜日・祝日　9:00～17:30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。
修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります。

◆東日本コールセンター　東京　☎（03）5302－3401
◆西日本コールセンター　大阪　☎（06）4250－8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客様は、下記の電話をご利用いただけます。

◆東日本コールセンターへの転送電話番号
- ●北海道地区　札幌　☎（011）833－7888
- ●東北地区　仙台　☎（022）382－2213
- ●長野地区　長野　☎（0263）26－1772
- ●新潟地区　新潟　☎（025）285－2451
- ●福島地区　福島　☎（024）945－6811

◆西日本コールセンターへの転送電話番号
- ●北陸地区　金沢　☎（076）237－6650
- ●東海地区　名古屋　☎（052）459－3456
- ●中国地区　広島　☎（082）293－9333
- ●四国地区　高松　☎（087）844－8321
- ●九州地区　福岡　☎（092）922－6111

◆沖縄地区　沖縄　☎（098）944－5018
受付時間　月曜日～土曜日（日曜日、祝日、および当社の休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：30

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせなどのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	（　）　ー

三洋マルチメディアセールス株式会社
ビジネス東日本営業部 CCTV東日本営業所
〒113-0033 東京都文京区本郷3－22－5　☎東京（03）5803－3545
CCTV事業推進部
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1－1　☎大東（072）870－6133

三洋電機株式会社
コンシューマ企業グループ
DIソリューションズカンパニー CCTVソリューションビジネスユニット
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1－1　☎大東（072）870－6277

この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

1AC6P1P2853--
L8HBJ/JP(1004PS-SY)